

生存のすべてを託す、一球のシュートもある。

スポーツマンたちは激しい練習に耐える。それは満足のいくプレーを行うためである。
自らが描いたイメージを、自らの肉体によって実現することが、
彼らの目標であり、彼らのよろこびでもある。
それが無為な行為だとしたら、ロマンと呼んでいいかも知れない。
それこそが、スポーツマンたちの生活そのものであるから。
「アディダス」ハンドボールウェアは、最新の機能で彼らのロマンに応えます。

adidas®

ロサンゼルス・オリンピック

1984年第23回 組合わせ決まる

試合スケジュール			
男子			
7月31日	11時00分	スウェーデン――韓国	Ⓑ
	12時30分	デンマーク――スペイン	Ⓑ
	14時00分	ユーゴ――アイスランド	Ⓐ
	18時30分	**スイス――日本**	Ⓐ
	20時00分	ルーマニア――アルジェリア	Ⓐ
	21時30分	西ドイツ――アメリカ	Ⓑ
8月2日	11時00分	デンマーク――韓国	Ⓑ
	12時30分	西ドイツ――スペイン	Ⓑ
	14時00分	スウェーデン――アメリカ	Ⓑ
	18時30分	**ユーゴ――日本**	Ⓐ
	20時00分	ルーマニア――アイスランド	Ⓐ
	21時30分	スイス――アルジェリア	Ⓐ
8月4日	11時00分	**アイスランド――日本**	Ⓐ
	12時30分	ルーマニア――スイス	Ⓐ
	14時00分	ユーゴ――アルジェリア	Ⓐ
	18時30分	スペイン――韓国	Ⓑ
	20時00分	西ドイツ――スウェーデン	Ⓑ
	21時30分	デンマーク――アメリカ	Ⓑ
8月6日	11時00分	西ドイツ――韓国	Ⓑ
	12時30分	デンマーク――スウェーデン	Ⓑ
	14時00分	スペイン――アメリカ	Ⓑ
	18時30分	**ルーマニア――日本**	Ⓐ
	20時00分	アイスランド――アルジェリア	Ⓐ
	21時30分	ユーゴ――スイス	Ⓐ
8月8日	11時00分	スイス――アイスランド	Ⓐ
	12時30分	ユーゴ――ルーマニア	Ⓐ
	14時00分	デンマーク――西ドイツ	Ⓑ
	18時30分	**日本――アルジェリア**	Ⓐ
	20時00分	スウェーデン――スペイン	Ⓑ
	21時30分	韓国――アメリカ	Ⓑ
8月10日	11時00分	Aグループ4位――Bグループ4位	
	12時30分	Aグループ3位――Bグループ3位	
	20時00分	Aグループ5位――Bグループ5位	
	21時30分	Aグループ6位――Bグループ6位	
8月11日	14時00分	Aグループ1位――Bグループ1位	
	15時30分	Aグループ2位――Bグループ2位	
女子			
8月1日	18時30分	韓国――オーストリア	
	20時00分	ユーゴ――西ドイツ	
	21時30分	中国――アメリカ	
8月3日	18時30分	ユーゴ――オーストリア	
	20時00分	中国――西ドイツ	
	21時30分	韓国――アメリカ	
8月5日	18時30分	西ドイツ――オーストリア	
	20時00分	中国――韓国	
	21時30分	ユーゴ――アメリカ	
8月7日	18時30分	オーストリア――中国	
	20時00分	ユーゴ――韓国	
	21時30分	西ドイツ――アメリカ	
8月9日	18時30分	オーストリア――アメリカ	
	20時00分	韓国――西ドイツ	
	21時30分	ユーゴ――中国	
すべての時間はロサンゼルス時間			

男女ともユーゴが金メダルへ最短距離

日本男子入賞目指す

ロサンゼルス・オリンピックハンドボール競技は、別表のように7月31日から8月11日まで、男子は12ヵ国、女子は6ヵ国が参加して開催される。

ハンドボールの場合、男子はソ連、東ドイツ、ハンガリー、ポーランド、チェコの5ヵ国がボイコットで不参加となり、替ってスイス、スウェーデン、スペイン、アイスランド、西ドイツの各国が出場することになった。ソ連をはじめとして東欧の強国が不参加となったことでレベルの低下は否めないが、それでもユーゴ、ルーマニアの強豪2ヵ国は出場するとあって、この両国による金メダル争いと見られる。それに代替出場ながらハンドボールのメッカ・西ドイツが、どれだけの意欲を見せてくれるか楽しみである。

女子の方は、ソ連、ハンガリー、東ドイツが不参加。替って韓国、西ドイツ、オーストリアが出場する。世界の上位4ヵ国のうち3ヵ国が不参加とあっては、世界3位のユーゴの金メダルが動かないものとみられる。アジアから、中国、韓国の2ヵ国が出場するが、どの程度の活躍を見せてくれるか、注目したい。

日本の男子は、予選Aグループに属し、スイス、ユーゴ、アイスランド、ルーマニア、アルジェリアの順に対戦するが、何といっても鍵は第1戦。とにかく初戦のスイスを倒して念願の入賞、あわよくばメダルの圏内に迫りたいものだ。ユーゴ、ルーマニアの強敵はともかく、他には十分勝てるだけのチャンスはあり、待望の入賞を果たして欲しい。

全日本高校選手権大会 展望

連覇の色濃い久留米工大附〈男子〉
小松市女を中心に充実した女子

編集委員会

第34回全日本高校選手権大会は、来る8月1日、東北の地、秋田県湯沢市でその幕が切って落とされる。春の選抜大会では男女共、多くの好試合が展開され、日本高校ハンドボール史上に新しいページを残したが、高校球界のメーンイベントとなるこの大会も各地予選の激しい争いを観ても春を上廻る好試合が予想される。

精神力抜群の久工大附

まず男子は、なんと言っても春の王者で、実績、実力共に大会随一を誇る久工大附を中心に大会の行く方を追うことにしよう。選抜では全く出来てないと言いながら優勝をさらうほどで、この大型チームが完成するとどこまで力を持つのか想像しただけでも末恐しい限りである。春の選抜を観ても、あの苦戦から抜け出すのは容易な技ではない。技術を遙かに越えた猛練習に耐え、それが精神力となって人格を創り得た者達でなければ不可能だったであろう。従って、その後の練習もまた同様に練習量、質共に抜群であり、特にエース甲斐は申し分なしの選手だが、他に村田、石丸、誉田らの成長が楽しみである。しかし甲斐選手が一人舞台の試合展開になるようだと春の苦戦もまぬがれないが、他が順調であれば問題なく連覇の色が濃くなる。

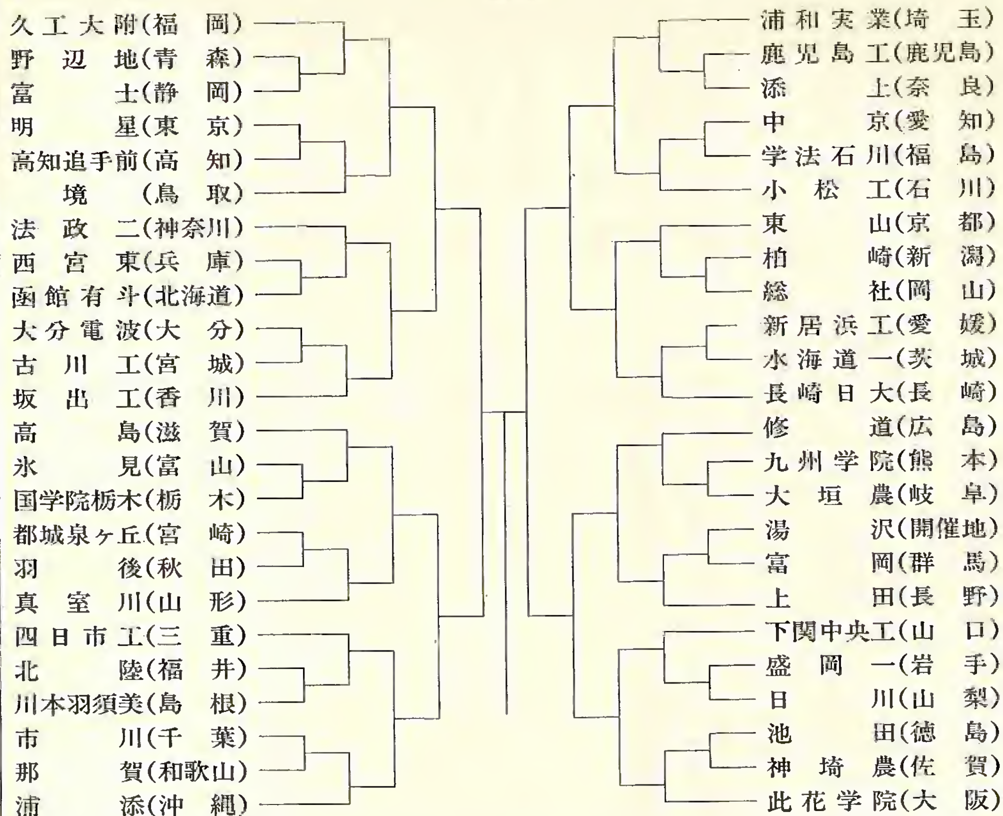
それに対抗する第三シードの浦和実も春の雪辱に燃えているのは当然だろう。ここにも長身のエース新井がいる。浦実の身上とするスピーディーな動きに加え、常にサイド、ポストを巧みに狙う戦法だが、今年はそれにロングシュートを折り込んでの攻撃は実に美事である。第二シードの此花も実力は相当なもので選抜では勝ちを意識しての展開が裏目に出て大差をつけられたが、君島を中心とする切れ味の良い攻撃は観衆をまた大いに沸すことだろう。ハンドボールの醍醐味を観せてくれる関西期待のチームである。勿論、優勝戦に浮上するのは間違いないだろう。また浦添は選抜で活躍した興南を破り代表になった力のあるチームである。春にはまだ未完成だった氷見もこの期間で可成り充実したと言われるのでここではまた大いに期待できそうである。それらを追う下関中央工、明星、富岡、中京と伝統のチームが犇めいている。このような中で準決勝に抜け出るのは久留米に対し氷見か浦添、逆は順当なら浦実対此花になろうが、どのゾーンも選抜大会時に振り返って単純に比較するのは危険である。春にはどうしても仕上げる状態でなく、涙をのみながら夏に賭けた監督も多いと聞く。そんな意味から大きく変化する可能性も充分にあるのではないかとみるがいずれにしろ総てに力を持つ久留米工大附を倒さなければ浦実、此花の初優勝はないのである。

黄金時代迎えた女子

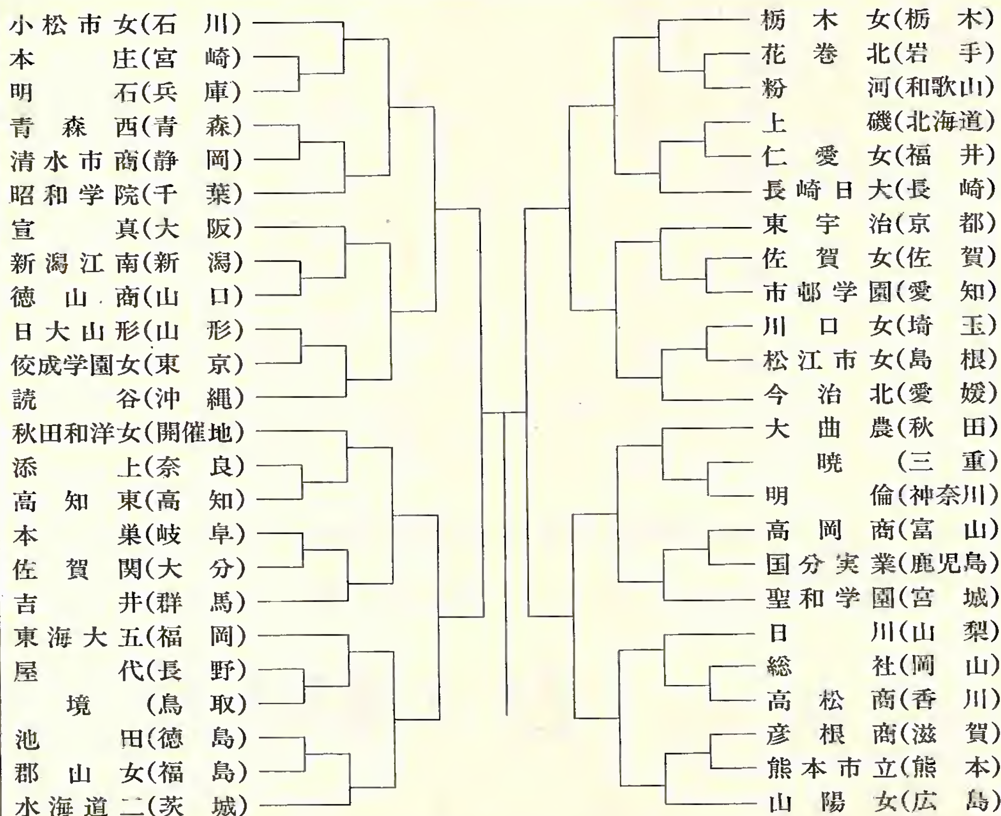
女子も男子に勝るとも劣らぬ好試合が予想出来る。その焦点はなんと言っても名将谷口監督引きいる小松女子である。それに対し総ての面で最近力を付けほぼ互角とみる片山名監督の創り上げたチームが並ぶ。そしてこれに挑む関東の名門、水海道二高が春の敗戦から弱点を修正しての再度の挑戦も今大会の見どころの一つである。大村監督も優勝に王手を賭けることはまず確実であろう。その他関東勢の栃木、昭和等、愛知の激戦を勝ち抜いた市邨学園などがこれに続き、女子は正に黄金時代を迎えたと言っても過言ではない。

同時に男女共、晴れの代表になって檜舞台を踏む選手達、勝者は一つである。従って勝者だけが満足するのではない。角度を変えてみると全国大会に参加することがいかに素晴しいか、またこのことが次の選手達の人生に於いて色々な意味で役立つのではないか。とすれば青春の貴重な体験である筈だ。苦しかった練習の成果をいかんなく発揮して欲しいものだ。

男子組み合わせ



女子組み合わせ



第25回全日本実業団選手権

大崎電気（女子）実に20年ぶりの栄冠

―男子は大同特殊鋼が4年ぶり―

第25回全日本実業団選手権大会は、男子は5月9日から11日まで大阪市中央体育館で、女子は5月4日から6日まで愛知県体育館で開催された。

男子では、昨年四冠を達成した湧永製薬が、準決勝で本田技研鈴鹿に敗れるという波乱があり、決勝は大同特殊鋼と本田技研鈴鹿という顔合せとなった。

大同は、前半からリードを奪って逃げ切り、4年ぶり9回目の優勝を飾った。

一方女子は、名門・大崎電気が昨年末の全日本総合にひきつづき復活を確定的にする強さを見せ、決勝でライバル・立石電機を下して20年ぶり2度目の優勝を飾った。

1回戦　男子

トヨタ自動車 28（13―11、15―14）25 本田技研熊本

得	〈自動車〉		〈熊本〉	得
0	玉津	GK	岩本	0
0	中西	GK	森	0
3	小山		田上	3
4	高木		斉所	6
3	相本		入江	0
0	近藤		松永	5
3	川田	FP	岡崎	1
11	香井		佐伯	7
0	山内	審	中村	0
0	久木	（木原・比山）	鯖江	0
4	松水		長野	2
0	前田		片山	1
28	(0)	PT	(2)	25

トヨタ車体 22（12―10、10―9）19 日鉄建材

得	〈車体〉		〈日鉄〉	得
0	工藤	GK	蓑輪	0
0	村林	GK	川上	0
6	長野		若本	3
2	藤長		清原	0
8	萩原		池辺	3
3	河村		古川	0
2	松井	FP	外山	4
0	井上		山口	6
0	石原	審	杉本	2
0	佐藤	（井上・島崎）	霜村	1
1	中島		中山	0
0	大塚		上山	0
22	(2)	PT	(3)	19

2回戦

日新製鋼 23（11―11、12―9）20 三陽商会

得	〈日新〉		〈三陽〉	得
0	谷	GK	大山	0
0	森田	GK	田村	0
1	泉		関	3
4	徳田		田口	0
2	吉見		砂川	11
1	洞ヶ瀬		山口	0
1	脇若		石原	0
0	日野	FP	実方	1
0	森	審	鵜沢	1
4	高木	（西沢・福井）	安藤	0
7	西山		河村	4
3	宮下		吉原	0
23	(5)	PT	(2)	20

本田技研鈴鹿 25（15―9、10―12）21 大崎電気

得	〈鈴鹿〉		〈大崎〉	得
0	大畑	GK	岡部	0
0	中尾	GK	矢内	0
2	佐々木		斉藤	4
0	三本松		東江	4
2	山野		武田	0
3	玉井		長野	5
3	粟屋		中田	0
4	吉山	FP	松岡	2
3	田口	審	越迫	1
8	坂本	（奥田・丸山）	首藤	5
0	山本		宮崎	0
0	平子		星野	0
25	(1)	PT	(5)	21

準決勝

本田技研鈴鹿 20（9―10、11―6）16 湧永製薬

得	〈本田〉		〈湧永〉	得
0	大畑	GK	大城	0
0	中尾	GK	井藤	0
1	佐々木		池ノ上	1
1	三本松		生駒	4
4	田野		穂積	5
0	尾上		藤本	0
0	玉井		志賀	1
2	粟尾	FP	内田	0
5	吉山	審	松本	1
4	田口	（丸谷・奥田）	山本	4
3	坂本		原田	0
0	平子		楢原	0
20	(0)	PT	(0)	16

大同特殊鋼 42（19―9、23―9）18 トヨタ自動車

得	〈大同〉		〈自動車〉	得
0	上村	GK	玉津	0
0	秋吉	GK	中西	0
4	田中		小山	3
9	田口		高木	1
9	高村		堀江	0
0	柳川		相本	2
6	大原		近藤	0
4	中本	FP	川西	8
3	河井	審	香井	3
4	蒲生	（大原・北山）	久本	0
3	市川		松永	1
0	佐藤		前田	0
42	(2)	PT	(3)	18

湧永製薬 35（20―5、15―4）9 トヨタ車体

得	〈湧永〉		〈車体〉	得
0	大城	GK	工藤	0
0	井藤	GK	村林	0
4	池ノ上		長野	4
4	生駒		藤長	0
4	穂積		萩原	2
3	藤本		河村	2
2	志賀		松井	0
3	中川	FP	井上	0
5	内田	審	石原	1
2	松本	（井上・島崎）	佐藤	0
6	山本		中島	0
2	原田		大塚	0
35	(1)	PT	(0)	9

順位決定戦1回戦

三陽商会 20（9―8、11―7）15 日鉄建材

得	〈三陽〉		〈日鉄〉	得
0	大山	GK	蓑輪	0
0	内野	GK	川上	0
4	関		若本	4
3	山口		清原	0
5	砂川		池辺	3
0	山口		古川	0
0	石原		外山	2
4	実方	FP	山口	3
1	鵜沢	審	杉本	3
0	安藤	（大原・北山）	霜村	0
3	河村		中山	0
0	吉原		上山	0
20	(4)	PT	(1)	15

決勝

大同特殊鋼 20（12―7、8―9）16 本田技研鈴鹿

得	〈大同〉		〈本田〉	得
0	上村	GK	大畑	0
0	秋吉	GK	中尾	0
0	田中		佐々木	1
2	田口		三本松	2
4	高村		田野	1
1	柳川		尾上	0
2	大原		玉井	1
4	中本	FP	粟尾	2
0	河井	審	吉山	4
6	蒲生	（井上・島崎）	田口	4
1	市川		坂本	1
0	佐藤		平子	0
20	(1)	PT	(1)	16

大同特殊鋼 23（11―9、12―9）18 日新製鋼

得	〈大同〉		〈日新〉	得
0	上村	GK	谷	0
0	秋吉	GK	森田	0
2	田中		泉	2
2	田口		徳田	1
0	高村		藤井	1
1	柳川		吉見	2
2	大原		洞ヶ瀬	2
4	中本	FP	脇若	2
1	河井	審	甲斐	1
5	蒲生	（井上・島崎）	高木	3
6	市川		西山	3
0	佐藤		宮下	1
23	(2)	PT	(2)	18

●第25回全日本実業団選手権●

順位決定戦2回戦

得	〈大崎〉		〈車体〉	得
0	岡部	GK	工藤	0
0	矢内		村林	0
0	斉藤		長野	5
8	東江		藤長	3
2	武田		萩原	3
5	長野		河村	3
0	中田		松井	5
4	松岡	FP	井上	0
1	越迫		石原	0
4	首藤		佐藤	0
0	宮崎		中島	1
0	星野		大塚	0
24	(0)	PT	(0)	20

大崎電気 24（11—14, 13—6）20 トヨタ車体　審（辻・福井）

得	〈三陽〉		〈自動車〉	得
0	大山	GK	玉津	0
0	内野		中西	0
4	関		小山	1
4	田口		高木	1
7	砂川		柏本	0
0	山口		近藤	0
2	石原		川田	8
3	実方	FP	香井	11
0	鶴沢		山内	0
3	安藤		久本	0
1	河村		松永	2
0	吉原		前川	0
24	(1)	PT	(2)	23

三陽商会 24（16—9, 8—14）23 トヨタ自動車　審（丸谷・奥田）

得	〈大崎〉		〈熊本〉	得
0	岡部	GK	岩木	0
0	矢内		森	0
2	斉藤		田上	5
3	東江		斉所	1
0	武田		入江	0
4	長野		松永	1
0	中田		岡崎	1
1	松岡	FP	佐伯	6
0	越迫		中村	1
6	首藤		鯖江	0
1	宮崎		長野	0
0	星野		片山	1
17	(2)	PT	(3)	16

大崎電気 17（9—6, 8—10）16 本田技研熊本　審（辻・福井）

5位決定戦

得	〈大崎〉		〈三陽〉	得
0	岡部	GK	大山	0
0	矢内		田村	0
2	斉藤		関	1
4	東江		田口	2
0	武田		砂川	11
9	長野		山口	2
0	中田		石原	0
7	松岡	FP	実方	5
1	越迫		鶴沢	1
6	首藤		安藤	1
0	宮崎		河村	2
0	星野		吉原	0
29	(3)	PT	(0)	25

大崎電気 29（14—12, 15—13）25 三陽商会　審（丸谷・奥田）

7位決定戦

得	〈自動車〉		〈車体〉	得
0	玉津	GK	工藤	0
0	中西		村林	0
3	小山		長野	1
3	高木		藤長	0
6	相本		萩原	6
0	近藤		河村	3
8	川田		松井	6
7	香井	FP	井上	0
1	山内		石原	0
0	久本		佐藤	0
4	松永		中島	4
0	前田		大塚	1
32	(4)	PT	(2)	21

トヨタ自動車 32（14—16, 18—5）21 トヨタ車体　審（北山・島崎）

9位決定戦

得	〈日鉄〉		〈本田〉	得
0	蓑輪	GK	岩木	0
0	川上		森	0
3	若本		田上	2
0	清原		斉所	2
4	池辺		入江	0
0	古川		松永	4
2	外山		岡崎	1
7	山口	FP	佐伯	8
2	杉本		中村	1
2	霜村		鯖江	0
0	中山		片山	2
1	上山		荒田	0
21	(2)	PT	(1)	20

日鉄建材 21（10—6, 11—14）20 本田技研熊本　審（丸谷・奥田）

1回戦—女子

得	〈重機〉		〈北国〉	得
0	深瀬	GK	辻	0
0	森脇		新宅	0
4	山崎		中川	6
5	市川		中田	5
2	中本		竹	0
4	春村		山崎	0
0	小野		藤田	3
0	古谷	FP	丸山	0
7	沖山		小玉	0
0	大前		松下	0
3	渡辺		林	2
0	矢田		吉田	4
25	(3)	PT	(3)	20

東京重機 25（14—11, 11—9）20 北国銀行　審（細井・板倉）

得	〈大和〉		〈ムネ〉	得
0	高浜	GK	清水	0
0	松本		遠藤	0
4	秋成		藤谷	1
4	高橋		岡部	4
2	川添		吉田	2
6	若水		小林	5
3	馬渡		石田	5
2	天谷	FP	大河原	4
0	前田		和知	0
2	植田		酒井	0
2	上西		田村	0
0	丸田		伊藤	0
25	(1)	PT	(4)	21

大和銀行 27（13—11, 14—8）19 ムネカタ　審（酒井・後藤）

3位決定戦

得	〈湧永〉		〈日新〉	得
0	大城	GK	谷	0
0	井藤		森田	0
7	池ノ上		泉	2
3	生駒		徳山	4
1	穂積		藤井	1
3	藤本		吉見	2
0	志賀		洞ヶ瀬	2
0	中川	FP	日野	0
4	松本		森	2
4	山本		高木	4
1	原田		西山	3
0	楢原		宮下	1
23	(8)	PT	(4)	21

湧永製薬 23（10—11, 13—10）21 日新製鋼　審（大原・北山）

2回戦

得	〈立石〉		〈大和〉	得
0	荒木	GK	高浜	0
0	井村		松本	0
3	是枝		秋成	5
5	近藤		高橋	4
1	亀園		川添	0
2	岩村		若水	2
2	藪田		馬渡	2
3	江口	FP	天谷	0
0	山口		前田	0
2	山内		植田	0
6	野嶋		上西	3
0	長谷川		丸田	3
24	(4)	PT	(3)	16

立石電機山鹿 24（15—8, 9—8）16 大和銀行　審（板倉・細井）

得	〈大崎〉		〈日立〉	得
0	梅野	GK	椿谷	0
0	藤田		葛生	0
1	大日		栗原	0
4	宮嶋		西山	1
1	石井		清水	0
5	時實		土屋	2
3	徳渕		手打	3
1	沖山	FP	前田	4
0	深沢		吉田	0
5	李相玉		山本	2
9	李京姫		山岸	3
0	松尾		井沢	2
29	(6)	PT	(3)	17

大崎電気 29（17—8, 12—9）17 日立栃木　審（加藤・遠藤）

得	〈ジャ〉		〈日ビ〉	得
0	木村	GK	渡辺	0
0	羽深		池田	0
5	寺沢		志村	9
3	石田裕		中根	1
7	鷲野		武藤	1
3	伊勢		長田	0
3	三木		鈴木	0
0	宮本	FP	門脇	1
0	十丸		遠藤	1
0	野村		枝川	2
3	近藤		下條	1
0	服部		平松	0
24	(5)	PT	(5)	16

ジャスコ 24（8—9, 16—7）16 日本ビクター　審（大橋・吉田）

準決勝

得	〈大崎〉		〈ブ工〉	得
0	梅野	GK	畑添	0
0	藤田	GK	大藪	0
2	大日	FP	原田	0
6	宮嶋		竹内	2
2	石井		赤井	4
1	時實		中村	3
5	徳渕		増永	6
0	沖山		太田	2
0	深沢		奥山	2
8	李相玉		松下	0
6	李京姫		山岡	0
0	西村		室屋	0
		審（酒井・後藤）		
30	(1)	PT	(1)	17

大崎電気 30（18－8, 12－9）17 ブラザー工業

得	〈立石〉		〈ジャ〉	得
0	荒木	GK	木村	0
0	井村	GK	羽深	0
2	是枝	FP	寺沢	7
6	近藤		石田裕	2
3	亀園		鷲野	2
1	岩村		伊勢	1
3	藪田		三木	3
1	江口		宮本	0
1	山口		十丸	0
1	山内		野村	0
1	野嶋		近藤	3
0	長谷川		服部	0
		審（板倉・細井）		
19	(4)	PT	(4)	18

立石電機山鹿 19（10－7, 9－11）18 ジャスコ

得	〈ブ工〉		〈重機〉	得
0	畑添	GK	深瀬	0
0	大藪	GK	森脇	0
0	原田	FP	山崎	1
5	竹内		市川	9
2	赤井		中本	0
7	中村		呑村	3
9	増永		小野	0
2	太田		古谷	0
0	奥山		沖山	3
1	松下		大前	2
0	山岡		渡辺	3
0	室屋		矢田	0
		審（遠藤・加藤）		
26	(4)	PT	(3)	21

ブラザー工業 26（12－10, 14－11）21 東京重機

順位決定戦1回戦

得	〈日ビ〉		〈北国〉	得
0	渡辺	GK	辻	0
0	池田	GK	新宅	0
7	志村	FP	中川	2
1	中根		中田	2
4	武藤		竹	0
1	長田		山崎	0
1	鈴木		藤田	3
0	門脇		丸山	1
1	遠藤		小玉	0
1	枝川		松下	0
3	下條		林	3
1	根本		吉田	0
		審（板倉・細井）		
20	(4)	PT	(2)	11

日本ビクター 20（13－4, 7－7）11 北国銀行

得	〈日立〉		〈ムネ〉	得
0	椿谷	GK	清水	0
0	葛生	GK	遠藤	0
0	栗原	FP	藤谷	0
0	西山		岡部	1
0	清水		吉田	0
0	土屋		小林	4
2	手打		石田	1
4	前田		大河原	0
1	吉田		和知	0
8	山本		酒井	0
4	山岸		鈴木	0
4	井沢		田村	0
		審（遠藤・加藤）		
23	(5)	PT	(1)	6

日立栃木 23（11－4, 12－2）6 ムネカタ

決勝

得	〈大崎〉		〈立石〉	得
0	梅野	GK	荒木	0
0	藤田	GK	井村	0
1	大日	FP	是枝	5
0	宮嶋		近藤	2
4	石井		亀園	0
0	時實		岩村	0
4	徳渕		藪田	1
0	沖山		江口	3
0	深沢		山口	0
10	李相玉		山内	2
6	李京姫		野嶋	4
0	松尾		長谷川	0
		審（酒井・後藤）		
25	(5)	PT	(2)	17

大崎電気 25（10－5, 15－12）17 立石電機山鹿

9位決定戦

得	〈北国〉		〈ムネ〉	得
0	辻	GK	清水	0
0	新宅	GK	遠藤	0
6	中川	FP	藤谷	2
1	中田		岡部	0
0	竹		吉田	2
1	山崎		小林	4
4	藤田		石田	3
0	丸山		大河原	2
0	小玉		和知	0
0	松下		酒井	0
2	林		田村	0
1	吉田		伊藤	0
		審（加藤・遠藤）		
15	(2)	PT	(2)	13

北国銀行 15（10－5, 5－8）13 ムネカタ

順位決定戦2回戦

得	〈大和〉		〈日ビ〉	得
0	高浜	GK	渡辺	0
0	松本	GK	池田	0
5	秋成	FP	志村	5
4	高橋		中根	1
2	川添		武藤	4
3	若水		長田	5
4	馬渡		鈴木	0
0	天谷		門脇	0
0	前田		遠藤	2
0	西野		枝川	0
1	植田		下條	1
2	上西		平松	0
		審（酒井・後藤）		
21	(1)	PT	(3)	18

大和銀行 21（15－8, 6－10）18 日本ビクター

得	〈日立〉		〈重機〉	得
0	椿谷	GK	深瀬	0
0	葛生	GK	森脇	0
0	栗原	FP	山崎	2
1	西山		市川	5
0	清水		呑村	0
1	土屋		小野	0
3	手打		古谷	0
3	前田		沖山	1
4	吉田		大前	5
1	山本		渡辺	0
3	山岸		矢田	0
6	井沢			
		審（川合・吉田）		
22	(1)	PT	(3)	13

日立栃木 22（12－5, 10－8）13 東京重機

3位決定戦

得	〈ブ工〉		〈ジャ〉	得
0	畑添	GK	木村	0
0	大藪	GK	羽深	0
0	原田	FP	寺沢	4
5	竹内		石田裕	2
4	赤井		鷲野	2
2	中村		伊勢	1
6	増永		三木	3
2	太田		宮本	0
0	奥山		十丸	0
3	松下		野村	1
0	山岡		近藤	3
0	室屋		徳重	0
		審（遠藤・加藤）		
22	(3)	PT	(3)	16

ブラザー工業 22（10－7, 12－9）16 ジャスコ

5位決定戦

得	〈日立〉		〈大和〉	得
0	椿谷	GK	高浜	0
0	葛生	GK	松本	0
0	栗原	FP	秋成	4
4	西山		高橋	4
0	清水		川添	2
1	土屋		若水	0
3	手打		馬渡	5
5	前田		天谷	0
4	吉田		前田	0
3	山本		植田	1
0	山岸		上西	1
4	井沢		丸田	0
		審（酒井・後藤）		
24	(2)	PT	(1)	17

日立栃木 24（9－7, 15－10）17 大和銀行

7位決定戦

得	〈日ビ〉		〈重機〉	得
0	渡辺	GK	深瀬	0
0	池田	GK	森脇	0
7	志村	FP	山崎	1
3	中根		市川	3
1	武藤		呑村	1
3	長田		小野	0
0	鈴木		古谷	0
0	門脇		沖山	3
3	遠藤		大前	2
0	枝川		渡辺	1
1	下條		矢田	1
0	平松		星	0
		審（板倉・細井）		
18	(3)	PT	(1)	12

日本ビクター 18（9－9, 9－3）12 東京重機

素晴らしかった西ドイツ遠征

関東高校選抜チーム 西ドイツ遠征 印象記

関東高校選抜チームは、3月23日から8日間、西ドイツ遠征で大きな成果をあげることができた。男女で12戦して7勝5敗だったが多感な高校生たちは、カッセルという美しい街の、美しいハートを持ったホームステイの人々の愛情あるもてなしに、感激の連続だった。西ドイツ選手の技術の習得とともに、人間的にも大きな収穫を得たホームステイの日々が、これからの成長に大きな意味を持つことだろう。

静かな美しい都市カッセルで味わった好意溢れるホームステイの素晴らしさ

日本人とドイツ人は兄弟だ
暖かいもてなしに感激の連続

女子チーム監督　原　信雄（藤村女子高等学校教諭）

昨年に続いて今年も西ドイツに行く事が出来た事を大変嬉しく思います。今回訪れたカッセルという町は、昨年お世話になったハノーバーよりやや南、フランクフルトと中間点に位置する。東ドイツ寄りの人口20万人程の中都市で、静かな美しい都市であった。

『遠い国、ヤーパン』

カッセルに到着した我々一行を、体育協会、ハンドボール協会、ホームステイの家族の方々等100人程の人達が出迎えてくれた。「遠い国、日本から…東の果ての国ヤーパンからようこそおこし下さいました……」ヨーロッパの国々からみればやはり日本は遠い遠い、東の果ての国、まさに極東なのである。

日本に好意的なドイツ人

「我々ドイツ人と日本人とは兄弟である。かつては両国手を組んで戦争をした。昔はドイツの方が兄貴で医学、教育、文化の面で日本に教えてあげたが、今や日本の方が兄貴で経済をはじめあらゆる面でドイツは日本に学んでいる」「我々ドイツ人は日本人が大変好きである。なぜなら、勤勉で誠実なところは両国民とも似ている。」と多くのドイツ人（中年以上）が言っていた。「他の外国人とは外で食事することがあっても自宅に呼ぶことはめったにない。ましてや8泊も家庭に泊めてお世話するというようなことは……皆さんが日本人だからするのです。」と言われとても嬉しく思った。

すばらしいホームステイ

到着して2日間程して女子選手の顔を見るとなんとなくさえない。聞いてみると、言葉が通じない、食事があわない、水が飲みたい…等悩んでいる様子。昨年の経験からして少しほっとけばそのうち…と思っていた。

まさにその通り、3日目あたりから選手の顔が明るくなり、ホームステイの家族の人達とずい分打ちとけあっている。「日本の家庭に電話をかけさせてくれた」「ミネラルウォーターを用意してくれた」「食事に気を使ってくれ、はしまで用意してくれた」「ドイツの人が日本語を勉強して話しかけてくれる」等々。どんなに早くても遅くても集合場所迄送り迎えしてくれる。試合会場迄家族ぐるみで応援にかけつける。勝った試合の時は同じ気持ちになって喜んでほめてくれ、負けた試合は色々とアドバイスをしてくれながらなぐさめ、勇気づけ、励ましてくれたそうである。ホテル等に宿泊していたならとうてい味わうことの出来ないドイツ人と日本人の本当の心の触れあう貴重な体験が今回もできたと思う。

東ドイツとの国境を見学

昨年大雪の為実現が出来なかった、東ドイツとの国境を見学した。西ドイツ国境警備隊員が説明してくれる。「同じドイツ人なのに残念です。我々が話しかけても東ドイツ兵は返事をしてくれない。い


古城をバックに男女両チーム

や、うっかり返答しようものなら軍法会議にかけられ処罰されてしまうのです」高く冷たくそびえる監視塔。その上を西ドイツ軍のヘリコプターが舞う。昨年秋、西ドイツ人が国境を侵入したというかどで銃殺された。そのお墓が現場にあった。まだ新しい木製の十字架の囲りに、花がいっぱいあった。

陽気で明るいゲルマン人気質のドイツ人もこと東ドイツの話となると顔をくもらせる。4年前、韓国を訪れた際も北朝鮮との冷たい対決をまの当りに見た思いだったが、今回も悲しい現実を思い知らされた。それにしても戦後、日本だけが軍隊もなく平和国家として繁栄していることにあらためて考えさせられる思いだった。

3勝3敗の戦績

今回も現地のクラブチーム、学校チーム（今回初）と6試合行い女子チームは3勝3敗だったが内容的には良い試合だったと思う。西ドイツチームの、体格の良さ、パワー、スタミナがあるのには驚く。また個人技、フェイント力、シュートの確実性、ねばり強さ等多くの事を学んだ。

今回はゲーテシエーレという学校に招かれドイツの学制等の説明を受け、体育の授業も見学させてもらった。バレーボールの授業中ドイツ男子生徒チームと日本女子チームと試合をしたが延長戦迄いって2点差で敗けたものの爆笑続きの面白いゲーム内容だった。（ドイツではバレーはあまりさかんではなく体育の授業で行う程度との事）

また、ゲーテシエーレの体育教諭ライナー先生によるハンドボールの練習指導は大変良い勉強になった。

歓迎会をしてくれた教会の広場にバスが、いよいよお別れの時がきた。なごりはつきないが……。ホームステイの家族の人と日本の選手団が抱きあって泣いている。涙をいっぱい浮かべ別れを惜しんでいる。本当に美しい光景だ。9日間のおつきあいだったがこんなにも親しくなっている。「時間だから早くバスに乗りなさい」と言うのも、なんだかむごくせつない思いだった。

4月4日夕、全員無事元気に成田に帰えってきた。多くの父母が出迎え。ある母親が「お帰えりなさい。どうだった？」と言うと、娘はすかさず「西ドイツに帰えりたい」と。その母親、後日、「喜こんでいいのか、悲しんでいいのか複雑な心境です。でも西ドイツが本当にすばらしかったのですね…」と。

昨年お世話になった西ドイツハンドボール連盟副会長のオピッツ夫妻が試合会場迄わざわざお見え下さったのには感激した。

こんなすばらしい西ドイツ遠征を企画して下さった三浦先生ありがとうございました。公社の岡さん、通訳の大塚さん、そして田中先生、お世話頂きありがとうございました。

この貴重な経験を、生徒たちとともに立派に生かしたいと考えています。

辛かった西独家族との別れ

藤村女子高　滝上陽子

今、こうしてふり返ってみると、本当になんと貴重な体験をしたのだろうと感激しています。西ドイツでの約1週間に渡るホームステイなど、きっともう経験することはないと思います。たった1人言葉の通じない所で、ノイローゼになってしまうに違いないと何度も不安に思いました。初めのうちは、自分のことで精一杯で、なにがなんだかわからなかったけれども、3日ぐらいたつと家族の人たちの親切さに気づきました。ドイツ人なのに私のために英語を使って話してくれて、私が理解するまで丁寧に説明してくれたり、1人で部



ゲーテシェーレ体育教員ライナー氏の練習を学び大いに参考に

屋にいると呼んでくれていっしょにゲームをしたり、夕食の時間を私にあわせてくれました。試合にも応援に来てくれて、勝った日は家族みんなで喜んでくれました。家族の人たちと別れる時は、本当につらかったです。また同じ年ぐらいの子たちとも片言の英語でしか話せなかったけれども、いっしょに遊んだりしてとても楽しかったです。

あらためて勉強の必要性を痛感

試合の方は、最初はたてつづけに2敗もしてしまい、自分たちがなさけなく感じました。相手のチームは、全体的にみんな背が高く、打点も高く、パワーがありロングシュートをだいぶ打たれてしまいました。でも、攻めは単調で、決まってよく打つシューターが1人いて、最終的にその子に打たせるというチームがほとんどだったと思います。私たちは、もちろん相手チームよりも背がずいぶん低く、ロングシュートはあまり決まりませんでしたが、細かい動きで抜いていくプレーなどで点数を決めることができたと思います。

短期間ではありましたが、他の学校の人たちとチームを組むことができて本当によかったです。あらためてまたハンドボールを勉強しなければならないこともたくさんありました。みんなと敵同志になるのはざんねんだけれども、是非、関東大会で逢いたいです。

西ドイツで学んだことを忘れずに、これからの練習に生かして頑張りたいと思います。

最後に、この遠征にあたって、団長の三浦先生をはじめ、原先生、田中先生には、たいへんお世話になり、ほんとにありがとうございました。

人懐っこく情に厚い西独の人々

藤村女子高　佐藤尚子

西ドイツではホームステイで1人か2人づつでお世話になりました。カッセルに到着すると、そこには向うの人がむかえに来てくれて、それぞれの家庭に行くことになっていました。私は心の中で1人でないことを必死に祈っていました。そして、通訳の大塚さんが名前を呼び始めました。はっと気づくと一番に呼ばれたのは私の名前でした。気持ちを落ちつかせ待ちかまえている家族の所へ行きました。待っていてくれたのは母親と2人の姉妹でした。名前を教えてもらってもほとんど聞きとれず、とりあえず自分の名前をなのって握手を交わしました。

それからすぐ一年生の佐藤さんも私と一緒のホームステイとわかり結局2人でお世話になりました。そして、家へ行き、父親と顔を合せたのですが、とにかく言葉の方が全くといっていいほどわからず、挨拶の仕様もなくあやふやな感じで自分が情無く思えました。食事の時など何か話しかけられても理解できず、向うは辞書で英語の意味を調べこちらは持ってきた本で必死で探すという感じで沈黙が続くという何ともいやな雰囲気でした。しかし、それも2日たち3日たちすると身ぶり手ぶりなどでなんとか話せるようになり、会話の中にも笑いがでる様になりました。

一生忘れない思い出

何をするのでも私達に気をつかってくれて本当に感激のしどうしでした。私が試合でケガをした時も心から心配してくれました。

ドイツの人はとても人なつこくて情に厚い人達だと思いました。私はドイツの人達のことを一生忘れないと思います。

試合をして感じたことは、周りで見ている人のドイツと日本との違いです。どちらがシュートを入れても大きな拍手をして試合を盛りあげてくれます。そんな所からドイツ人の性格というものがわかりました。

西ドイツで学んだことを、日本に帰ってきた今、これからの試合に向けてチームの中で生かしていけたらと思っています。良い遠征ができ本当に良い経験ができました。団長の三浦先生をはじめ、原先生、田中先生本当にありがとうございました。

関東高校と、ほとんど時を同じくして関西高校選抜も、西ドイツへの遠征を行なった。こちらはギョッピンゲン市他。男女で18戦12勝6敗だったが、ここでもホームステイの暖いもてなしが選手たちを感激させ、ますます西独との交流を密にした西独遠征だった。

関西高校選抜 西独遠征印象記

多くの思い出をつくって帰国

大阪府立門真高校 津熊美智子

不安な気持で出発

57年春に続いて、大阪高体連ハンドボール部として2度目の西独遠征を、夢と希望を与え、技術向上と国際親善を目的に。それも今回は男女ともにという事で、派遣選手の決定、打ち合せ、関係各所への届出文書作成、また、チームとして必要な品物を揃えたり、団長、総監督の先生方の指示に従い、総務としての仕事をさせて戴きながら、何と大変な事だなというのが素直な感想でした。

自分自身の荷物は出発前日にあわてでつくり、選手の同級生や家族、大阪協会、高体連の人たちの「いってらっしゃい」「よろしくお願いします」のことばに見送られながら、海外遠征など初めての経験である私など、「とんでもない、よろしくお願いしますは、私のセリフだ」と、不安な気持で、しかし顔とことばだけは「頑張ってきます」という訳で3月21日、大阪空港からルフトハンザの機内の人となった。

乗客の大半は、日本人とはいえ独語での案内に、ドイツ人スチュワーデス。出発の前に購入したドイツ語会話を、忘れずに持ってきたかと、思わずたしかめたものである。5度の食事に成田、アンカレッジ、ハンブルグ、と8回、途中2度も時計を合わしてやっと、フランクフルト空港着、22日の朝8時半のことである(現地時間)。

蒼い空を仰ぎ、迎えのバスに乗る。親切な運転手さん父子で、これからの旅程を思って一安心であった。右側通行の車、時速一二〇キロで走るバスを簡単に抜いていく車、そして広い道路。緑と茶色の土地が交代に続く平野、そして、教会を中心とする集落に目を奪われ、これが西独だということを改めて感じさせられた。

ホテルについて、旅装をとく暇もなく練習へと出発。あわただしく第一夜が始まった。翌朝の散歩でスーパーマーケットに入る。品物、規模は日本と大差はないが、流石に、ハム、チーズ、ソーセージ等の種類の多さと大きいのに驚ろく。

ギョッピンゲン市庁舎表敬訪問。夕刻第1戦を迎えることとなったが、試合前に観客の子供たちからせがまれ、サイン。ついでに折鶴風船を折ってプレゼント。身振り手振りで折り方を教えながらも、日独親善をしたつもりの私たちであった。観客といえば、どの体育館もほぼ満員で、フョードルリネンギリナジウムをはじめ、第8戦、9戦の試合は、約三〇〇名を越すものであった。

毎日の日程は、午前中に市内各名所見学、昼食を挟んで市庁舎表敬訪問かまたは見学、夕刻親善試合、体育館でシャワーをあび簡単に反省をした後、レセプションに出席。宿舎に帰るのはほぼ10時〜11時頃という強行日程であった。見学場所については省略するが、南部から北部へ移動するたび、少しずつ、周囲の様子も違い、西独選手のレセプションでの様子も変化してきたようである。

レセプションといえば、大阪の女子選手がドイツ語で「野バラ」を披露してくれたのには大きな拍手と、足拍子が湧いた。もうひとつ、忘れてならないのは、女子の小林晶子さんの野球拳で、お相手は、奥浜、赤星、北岡先生と、飛び入りで西独男子選手も出る盛り上がりをみせた。

いずれにしてもレセプションは、沢山の友だちをつくるチャンスと自分の語学力を試される事とで、不安半分、喜び半分であったが、知っている単語、述語を操り、それに加えて勇気とで、どのレセプションもなかなか良い雰囲気であった。選手が用意してきたプレゼントはどれも喜ばれたが、特に笑い声がたえなかったのは、空気が抜ける時にユーモラスな音のする風船だったのは御愛嬌であった。

親善試合

試合の方は、緊張と疲れとで、男女とも第1戦は落としたものの、徐々にコンビネーションもとれ、男子は、大商、浜野選手の得点に刺激され、全員が自分なりのプレーをとり戻し、9戦して5勝4敗という結果であった。相対的に男子チームは大阪と戦力的には互角のチームが多く、手足の長さ、背の高さそしてパワーを生かし、単発ではあるが、チャンスとみれば高い打点から思い切って打つロングシュートと、手足の長さを充分利用したポストへのパスとそしてシュートで得点を稼ぎ、対する大阪チームは、フェイントを多用、ステップをぎりぎりまで使うフットワークでディフェンスをゆさぶり、カットイン、サイドシュート、そして速攻で対抗。GKの好守もあって試合終了間際にやっと引き離すという試合展開が多かった。どのチームにも、一九〇cmは越す選手が1人、2人といて、選手層の厚さを思い知らされた。

尚、3月26日の第4戦は、2名とも国際審判員だというレフェリーで、判定の的確さ、笛の音色、自信、態度には、「なるほど、これが本場のレフェリーか」と感服した。

一方、女子は、出発前には一勝することが困難ではないかとの予想であったが、案に相違して、年齢構成からか、対戦した相手は日本でのクラブチームと同じレベルであり、結果的には9戦して7勝



関西高校選抜は西ドイツで健闘

2敗という好成績であった。大阪チームはしかし、パス、キャッチミスが多くて、なかなか攻撃のリズムに乗れず、各チームからの選抜という弱点がもろに出た。ＧＫからのワンパス速攻での得点が多かったとはいえ、そのパスも、相手ディフェンスの手の長さ、背の高さが読めず、安易にカットを許したり、みていてため息の出ることもあった。しかし、セットオフェンスでは、ステップシュートがよく決まり、面目を保った。

第7戦の相手チームには、ナショナルのジュニアの選手が1人含まれていて、身体は日本の選手とそう変わらないにもかかわらず、ドリブルでの速攻、カットインのスピードなど、みるべきものがあった。尚、最終戦のＧＫも、ジュニアの選手だとの事であった。

待望のホームステイ

3月25日、不安と緊張のホームステイが始まる。選手、役員とも1人だけで、また2人でと、各家庭へ迎えられる。私は、この地のギムナジウムの先生で、世話役をして下さったキューゲレさんのお宅と決まったが、そこには美人の奥様と、5歳、7歳の大変可愛いお嬢ちゃんがおられ、日本人が珍らしいのか、5歳のダンニエラちゃんが、くるくる動く目で我々の事を見、さかんにママに話しかけるが、言葉がわからないのが残念。

ひとしきりの会話の後（？必死の会話であった）奥様手作りの夕食を御馳走になり、地下鉄に乗ってホーフブロイハウスへと案内される。（ミュンヘン市にあって、ドイツで5番目ぐらいの広さのビアガーデン）地下鉄には改札口がなく、乗客を信用してメーターにチケットを差しこむだけで、駅員の姿がない。後できくと、その為に出る赤字も相当あるらしく、国内で問題になっているとのことである。

緊張の一夜があけ、私たちは「グーテンモルゲン」Ｋüｇｅｌｅさん夫妻からは「おはよう」のことばをきく。

これから先、29日の朝まで、このお宅で世話になったが、一日の日程を終え、帰宅するのが11時過ぎでは、朝食の時しか家族と顔を合わすことができなかったのは残念であったが、お別れの朝、写真をとったり、カンニングペーパーを使って感謝の意を伝えたり、いよいよ家を出る時には幼ない2人が、車の横をついて走り、大きく手を振り続けてくれた時には、心からの感動を覚え、見も知らぬ私の面倒をみて下さった事に感謝の気持で一杯であった。

ホームステイも、最初のうちは、「どうだった」と選手に尋ねると、「先生、寝る時にひとり泣きましたよ」なんて、冗談かもしれないけれど、心細い様子であったのが、4泊するうちにはすっかり打ちとけ、夜中に洗濯機と格闘した人や、毎朝コーンフレークを何杯も勧められ、ことわりきれずに「おいしい〳〵」と食べた人など、沢山の思い出をつくり、世話をして下さった方々の歌声に見送られ、プラネク市を後にしたのである。

ブルメスター氏のこと

約10時間のバス旅行で、ミンデン市に入り、そこで西独に於ける全日程をお世話して下さったブルメスター氏に会った。出発前からこの方の事はきいていて、お会いできるのを楽しみにしていたが、かつてナショナルの選手として日本に来られた事もあり、また、光島団長と親しくお付合いされ、その後も来日されているとかで、言葉はわからなくとも雰囲気で、心の広い、暖かい人で、歓迎して下さっているのが感じられた。

フランクフルトソーセージ、他、ドイツ料理にワイン、ビール、ジュースと、全員をお肉屋さん（ダンカーゼンチームの大ファンで、そこの選手だった氏とも昔からの付合いだという）へ招待して共に楽しいひとときを過ごさせて下さったうえに翌日は役員のみではあったが、氏のお宅で家族、親類の人たちと手料理のもてなし、最終地キールでも、当地での世話をして下さった方のお宅への招待で、60度という強いお酒も御馳走になったが、ホームバーがあり、どっしりとした風格のある家具といい、街並みといい、この国の歴史について考えさせられる事が多かった。

遠征を終えて

無駄をしないドイツの国民性とどこの市長さんの挨拶にもあったが、自分の住んでいる土地に対する自信と愛着とその他に沢山のことを知り、思い出をつくって雪まじりのハンブルグ空港を後にした。

帰国して、役員、選手の反省文や感想文を読み、まとめるについて、誰もがもう一度行きたい。西独チームの人たちが来日する事があれば、一生懸命お世話をしたい。そして、西独チームのプレーに触れて、そのパワーゲーム中のマナーの良さ、そして高さに刺激され、心良く送り出してくれた所属チームへの還元。と書いてくれた事に対して、遠征を計画し、実行して下さった先生、また、陰ながら応援し、色々と便宜を計らって下さった方々に、役員、選手にとって、大変有意義な春休みであり、経験であった、今後の人生にとって良い影響をもたらすであろうと報告をし、この章を終りたいと思う。

科学研究委員会報告 PART2

心拍数を指標としたハンドボール競技の練習および試合における運動強度について

—昭和56年度報告書より—

トレーニング・ドクター群

はじめに

運動強度の指標としては、R・M・Rや酸素摂取水準が広く一般に用いられている。しかし、それらの指標を求めるには、例えば呼気ガス分析装置などの高価な特別の器械を必要とし、それらの器械を用いて監督、コーチあるいは選手自身が刻々変化する生体の運動に対する反応を測定することは容易でない。本報告は、酸素摂取水準は心拍数あるいは心拍水準と直線関係にあることを利用して、容易に測定できる心拍数を指標に選びハンドボール競技の練習時及び試合時の運動強度を調べたものである。

研究方法

被検者は、第10回世界男子ハンドボール選手権大会に出場する全日本代表選手（FP）3名。測定日は合宿前。

被検者　T・I
身長：186cm、体重：75kg、年令：27才、競技歴：11年、全日本代表選手歴：4年、

被検者　A・T
身長：181cm、体重：76kg、年令：31才、競技歴：18年、全日本代表選手歴：8年、

被検者　K・S
身長：182cm、体重：77kg、年令：27才、競技歴：12年、全日本代表選手歴：2年、

練習時及び試合時の心拍数の測定は、被検者の背部にとりつけたハートレコーダー（メモリーマックUHM1−012）によって連続して行なった。心拍数は20秒間の心拍数に3を乗じて1分間値に換算して求めた。また、測定時の被検者の活動内容は、各被検者に1名の記録員をつけて観察法によって記録した。

結果と考察

1）試合中の心拍数について

図1から図3は、各選手の試合時の心拍数を経時的に示したものである。図中のHRmax、は最高心拍数であり、各選手の最高心拍数は、昭和55年度日本体育協会スポーツ医、科学研究報告書より引用した値である。

T・I選手、及びK・S両選手の心拍数の変化はほぼ類似しており、運動開始後増加し、その後ほぼ一定値を保持した。しかし、A・T選手の心拍数変化は、前二者に比べてより大きな変動巾を示し、かつ時間経過に伴なって徐々に増加する傾向がみられた。

試合時の最高心拍数は、T・I選手が189拍／分で、A・T選手が186拍／分、K・S選手が、171拍／分であり、それらの値を各選手の最高心拍数に対する割合（心拍水準、%HRmax・）で表わすと、それぞれ100%HRmax、95%HRmax、93%HRmax・であった。試合時の平均心拍数は、T・I選手が151拍／分であり、心拍水準は、それぞれ88%HRmax、72%HRmax、82%HRmaxであった。

また、全試合時間を攻撃時間及び防禦時間に分け、両時間帯の平均心拍数を求めた結果、いずれの選手においてもその差はみられなかった。

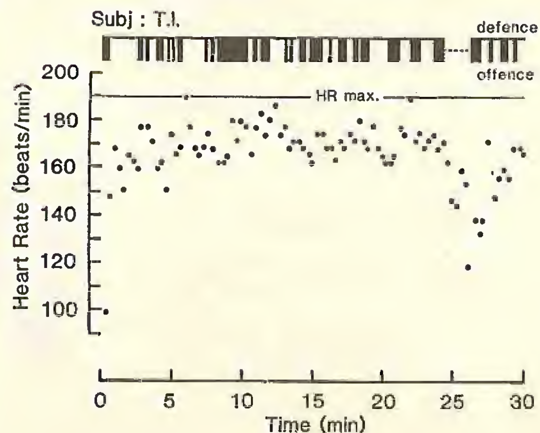
2）練習時の心拍数について

図4は、T・I選手の、練習時の心拍数を経時的に示したものである。図中の破線は休息時間を、a〜jは以下の練習項目を示している。

a：準備運動（ランニング）、b：準備運動（徒手体操及び柔軟体操）、c：2人1組のシュートカット練習、d：ボールを使用した1対1のフェイント練習、e：ボールを使用した2対2のクロスプレーの攻防練習、f：40mの遠投、g：ランニングパス（三角パス及びロストパス）、h：キーパー練習（キーパー以外の選手は、ボール拾いまたはキーパー練習のためのスタンディングシュート）i：コート半面の6対6の攻防練習。

T・I選手の、練習項目別に求めた平均心拍数及び心拍水準は、

ハンドボール試合中の心拍数の経時的変化（T．I．選手）



ランニングパスが最も高く（165拍／分、87%HRmax）、準備運動（徒手体操、柔軟体操）が最も低かった。（115拍／分、61%HRmax）。

　その他の練習項目の平均心拍数及び心拍水準はほぼ同値であり、それぞれ132拍／分～143拍／分、70%HRmax・～76%HRmax・の範囲内であった。また、休息時を除いた練習時の平均心拍数は142拍／分、心拍水準は75%HRmax・であり、試合時の平均心拍数である167拍／分以上で行った練習時間は、8分間であった。

　A・T選手及び、K・S選手の各練習項目の、平均心拍数及び心拍水準は、T・I選手の値よりも低かったが、練習項目の運動強度の順位では、T・I選手の順位と同様であった。

　A・T選手、及びK・S選手の練習時の平均心拍数は、それぞれ120拍／分、117拍／分であり、両者の心拍水準は等しく64%HRmax・であった。

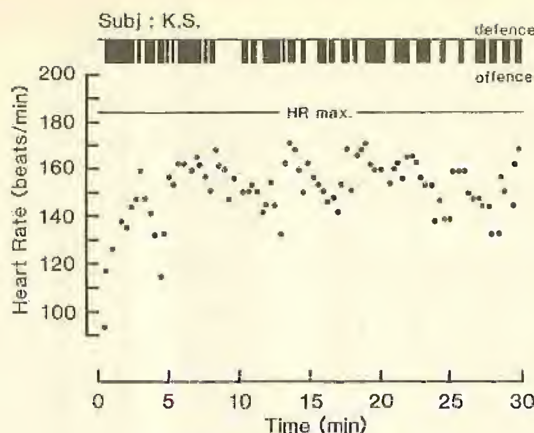
　以上の結果から、試合時の時間経過に伴う心拍数変化の様相及び心拍水準は、同一試合を行なったにもかかわらず、T・I選手、及びK・S選手と、A・I選手の、間には差異がみられた。

　この差異の原因は、更に詳細な各選手の運動量の調査を必要とするが、以下の二点が考えられよう。

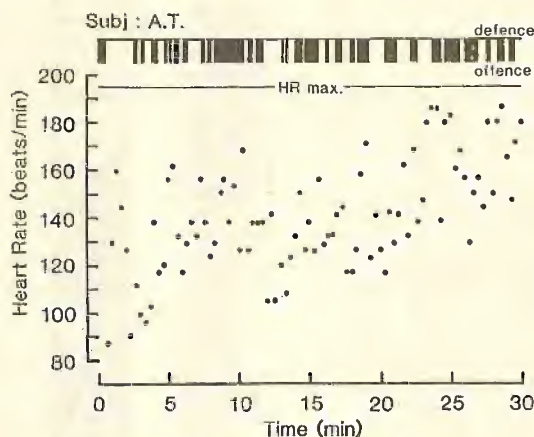
　第一は、選手の試合時における活動の量的及び質的な差異である。T・I選手及びK・S選手は、本試合時でのチームは異なるが、共に攻撃時にはフローターであり、A・T選手は、主にポストマンであった。ハンドボール競技のフローターは、長時間にわたる激しくかつスピードにあふれた動きを、ポストマンはフローターの動きに連係した瞬間的な動きを要求される。これらポジションによって異なる活動の量的・質的差異は試合時の心拍数に反映され、その結果フローターであるT・I選手、及びK・S選手は、心拍数の変動巾は、小さく高い心拍水準が得られたものと思われる。一方、ポストマンである、A・T選手は、短かい距離の瞬間的な動きをフローターに合わせて行ない連続した長時間の激しい動きを行なわなかったため、心拍数の変動巾は大きく、フローターに比べてやゝ低い心拍水準の得られたものと考えられる。

　他の原因には、選手の試合に対する精神的緊張度の差異が考えられよう。過度の精神的緊張は副腎髄質よりアドレナリンを分泌させ、それは交感神経を刺激して心拍数を増加させる。いずれの選手も所属チームではエース格である。しかし、全日本代表選手歴は異なり、T・I選手、及びK・S選手は、それぞれ4年間と2年間であり、A・T選手（8年間）よりは短かい。これら全日本代表選手歴の差異は、練習試合とはいえ精神的緊張度に差異を生じさせて、T・I選手、及びK・S選手は、A・T選手に比べて長時間にわたり高い精神的緊張状態を持続したため、心拍数の変動巾は小さく心拍水準は高かったとも考えられる。

　広田と米倉によると、19～25才のハンドボール競技経験者（6名、平均4年間）であるフィールドプレーヤーの試合時の平均心拍数と心拍水準は、それぞれ158拍／分と86%HRmax・であるという。また、Fin MIKKELSENは北欧のハンドボールナショナル選手の、臼井は関東一部リーグ校のフィールドプレーヤーの試



ハンドボール競技試合中の心拍数の経時的変化（K.S.選手）



ハンドボール競技試合中の心拍数の経時的変化（A.T.選手）

合時の平均心拍数と心拍水準を調べた結果、それぞれ174拍／分（91%HRmax・）、177拍／分（91%HRmax・）であり、攻撃時及び防禦時のそれらの値には差異がみられなかったことを報告している。

本実験の日本代表選手の試合時の平均心拍数及び心拍水準は、153拍／分と80%HRmax・であり、上記のこれまでの報告に比べ低い値であった。

この差異については、本実験の被検者は3名であり、心拍数が増加すると思われる後半を測定していないので、明確な理由はわからない。しかし、本実験の測定日が長期合宿前の調整期間中であったことを考慮すると当然の結果だろう。

すなわち、調整期間中であるため、本実験の被検者は、他の報告の被検者に比べて運動量を少なくして呼吸・循環器系の活動に余裕を残しつつ連係プレーの確立に重点をおいて本試合を行なったものと解されよう。

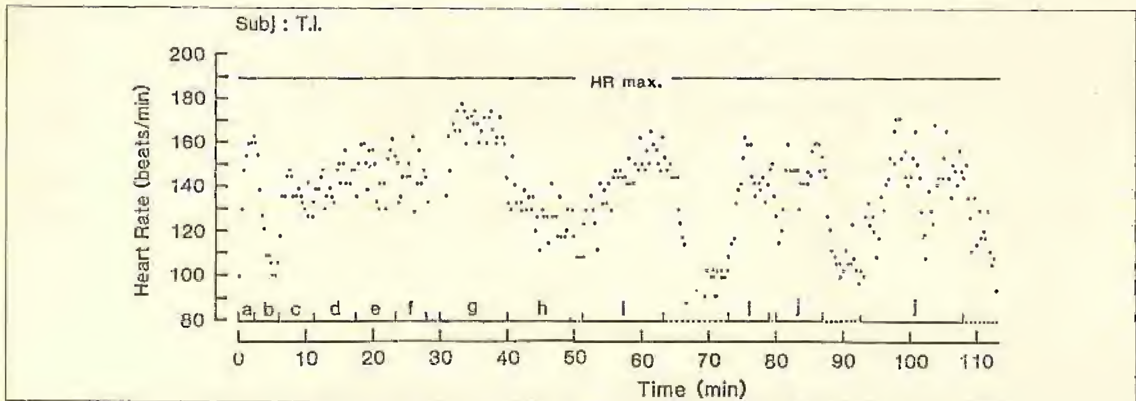
広田と米倉は、各種ハンドボール競技の基本技術の練習時の心拍数を調べ（5分間）、試合時の運動強度（159拍／分、87%HRmax・）とほぼ等しい基本技術は、5m間隔の対面クイックパスと10秒間隔のランニングシュート及びジャンプシュートであり、20秒間隔のワンマン速攻は、平均心拍数176拍／分、心拍水準は96%HRmax・であることを報告している。本実験の各練習項目の運動強度は、ランニングパスを除いていずれも試合時の運動強度より低いものであった。

酸素摂取能力向上のための臨界トレーニング強度は、一般成人では、約120～130拍（約60%HRmax・）であり、一流スポーツ選手では、更に高い値を必要であるといわれている。

このことは、試合前の調整期間中でも日常のトレーニングによって獲得された酸素摂取能力を維持するためには、練習試合や運動強度の高い基礎技術練習を行う必要があることを示しているといえる。

日本代表選手の試合時の平均心拍数及び心拍水準は、153拍／分と80%HRmax・であり、試合時の運動強度はポジションにより差が認められた。本実験では世界選手権大会前の調整合宿における練習中の心拍数を測定したが、平均心拍数142拍／分、心拍水準、75%HRmaxであった。試合前の練習で、試合時の平均心拍数である167拍／分以上行なった練習時間は、8分間だけだった。

心拍数を指標とする試合、練習中の運動強度も、ポジションによる差異、経験による差異、そして心理条件の違いなどが考えられるが、出来ることならナショナルチームの選手全員について個々のデータを求めてみたかった。



ハンドボール練習中の練習内容と心拍数変化の関係（T．I．選手）

春の学生リーグ戦結果

関東学生春季リーグ戦

▽男子1部

中大	33－31	日体大
筑波大	28－25	国士大
日大	30－16	早大
法大	18－15	慶大
日大	33－24	日体大
中大	28－18	早大
国士大	31－20	慶大
筑波大	26－21	法大
早大	25－20	法大
筑波大	27－26	中大
国士大	23－18	日体大
日大	24－17	慶大
筑波大	21－20	日大
法大	33－23	日体大
早大	24－22	国士大
中大	31－24	慶大
慶大	32－19	日体大
筑波大	25－19	早大
日大	28－18	国士大
中大	31－26	法大
早大	25－23	慶大
筑波大	31－19	日体大
中大	27－27	国士大
法大	22－20	日大
早大	28－21	日体大
筑波大	29－21	慶大
国士大	20－20	法大
日大	26－24	中大

〔順位〕
①筑波大（7勝）
②日大（5勝2敗）
③中大（4勝2敗1分）
④早大（4勝3敗）
⑤法大（3勝3敗1分）
⑥国士大（2勝3敗2分）
⑦慶大（1勝6敗）
⑧日体大（7敗）

〔優秀選手〕
GK山崎貴士（筑波大）
FP杉森弘幸（筑波大）
朝生和光（筑波大）
角　直樹（筑波大）
金原理博（日大）
清家伸二（中大）
加藤元規（早大）

〔得点王〕
加藤元規（早大）68点

▽男子2部

〔順位〕
①東海大
②順天堂大
③明大
④専大
⑤東京学芸大
⑥茨城大
⑦横浜国立大
⑧明星大

〔得点王〕
福工唯男（東海大）52点

▽男子3部

〔順位〕
①東京大
②立大
③神奈川大
④千葉工大
⑤東京理科大
⑥東京農大
⑦芝浦工大
⑧上智大

〔得点王〕
成川順一（東大）64点

▽男子4部

〔順位〕
①埼玉大
②武蔵工大
③一橋大
④創価大
⑤文教大
⑥青山学院大
⑦大東文化大
⑧防衛大

〔得点王〕
鶴岡美昭（武蔵工大）49点

▽男子5部

〔順位〕
①武蔵工大
②亜細亜大
③関東学院大
④東京経済大
⑤都留文科大
⑥日本工業大
⑦横浜商科大
⑧千葉大

〔得点王〕
中元浩昭（武蔵大）53点

▽男子6部

〔順位〕
①横浜市立大
②東京都立大
③東京工業大
④成蹊大
⑤和光大
⑥独協大
⑦明治学院大
⑧玉川大

〔得点王〕
田仲康雅（東京都立大）50点
佐々木久（東京都立大）50点

▽男子7部

〔順位〕
①駒沢大
②東京農工大
③東洋大
④産業能率大
⑤拓殖大
⑥山梨大
⑦麗沢大
⑧東京外語大
⑨東京工芸大
⑩群馬大

〔得点王〕
塚田忠律（駒沢大）48点

▽女子1部

東女体大	37－4	東学大
日体大	51－4	茨城大
東女体大	31－9	東学大
日体大	54－4	茨城大
日体大	40－9	東学大
東女体大	29－9	日女体大
筑波大	43－2	茨城大
筑波大	45－3	茨城大
日体大	43－5	東学大
東女体大	21－15	日女体大
日体大	40－12	日女体大
東女体大	35－6	茨城大
筑波大	24－7	東学大
日体大	36－15	日女体大
東女体大	50－2	茨城大
筑波大	31－12	東学大
東女体大	20－15	筑波大
日女体大	31－8	茨城大
東女体大	21－10	筑波大
日女体大	31－3	茨城大
日女体大	17－12	東学大
日体大	27－22	筑波大
東学大	12－10	日本女大
日体大	31－18	筑波大
筑波大	25－11	日女体大
日体大	31－17	東女体大
東学大	23－13	茨城大
東学大	21－9	茨城大
筑波大	24－15	日女体大
日体大	25－17	東女体大

〔順位〕
①日体大
②東女体大
③筑波大
④日女体大
⑤東京学芸大
⑥茨城大

〔優秀選手〕
GK塩畑久美（日体大）
FP宮田由紀子（日体大）
山本美幸（日体大）
李　恵美（日体大）
小口智子（日体大）
吉岡典子（日体大）
小池宏子（東女体大）

〔得点王〕
小池宏子（東女体大）93点

▽女子2部

〔順位〕
①東海大
②千葉明徳短大
③創価大
④横浜国立大
⑤都留文科大
⑥文教大
⑦千葉大
⑧駒沢大

〔得点王〕
手島理恵子（東海大）60点

◇入れ替え戦

〈男子〉

東京農工大	26－24	明治学院大
駒沢大	47－15	玉川大

都立大	29－23	横浜商科大
横浜市立大	27－13	千葉大
日体大	23－22	東海大
防衛大	25－19	武蔵大
武蔵工大	21－17	芝浦工大
上智大	25－16	埼玉大
順天大	24－22	慶大
亜大	18－16	大東大
横浜国大	22－19	立大
東大	28－20	明星大

（女子）

東海大	16－12	茨城大

※この結果、順天大、東京大、武蔵工大、亜細亜大、横浜市立大、東京都立、駒沢大、東京農工大、東海大（女子）がそれぞれ昇格、日体大、横浜国立大、上智大、防衛大がそれぞれ残留いたしました。

関西学生春季リーグ戦

▽男子1部

大体大	26－14	同大
大体大	44－17	天理大
大体大	26－18	阪大
大体大	25－10	京産大
大体大	42－15	近大
大体大	3－8	和歌山大
同大	25－23	天理大
同大	25－17	阪大
同大	22－15	京産大
同大	32－20	近大
同大	24－16	和歌山大
天理大	25－19	阪大
天理大	29－24	京産大
天理大	25－22	近大
天理大	25－20	和歌山大
阪大	13－11	京産大
近大	21－20	阪大
阪大	31－14	和歌山大
京産大	27－22	近大
京産大	18－13	和歌山大
近大	35－14	和歌山大

〔順位〕

①大阪体育大 ②同志社大 ③天理大 ④大阪大 ⑤京都産業大 ⑥近畿大 ⑦和歌山大

▽男子2部

〔順位〕

①関西大 ②大経大 ③大院大 ④神戸大 ⑤京教大 ⑥京大 ⑦関学大

▽男子3部

〔順位〕

①立命大 ②桃山大 ③大教大 ④大阪市大 ⑤大阪府大 ⑥奈良教大 ⑦甲南大

▽男子4部

〔順位〕

①滋賀大 ②仏教大 ③竜谷大 ④関西外大 ⑤追手門大 ⑥京都工芸繊維大 ⑦大工大

▽男子5部

〔順位〕

①八代学院大 ②神戸学院大 ③奈良大 ④大薬大 ⑤大阪外大 ⑥神戸商船大 ⑦京都府大 ⑧姫工大 ⑨大阪歯大

▽女子1部

大体大	20－17	大教大
大体大	19－11	武庫川女大
大体大	45－10	天理大
大体大	45－9	大阪成蹊女
		短大
大体大	41－6	京教大
大体大	53－8	滋賀大
大教大	18－12	天理大
大教大	17－7	大阪成蹊女
		短大
大教大	18－16	京教大
大教大	30－7	滋賀大
武庫川女大	33－6	天理大
武庫川女大	22－3	大阪成蹊女
		短大
武庫川女大	29－7	京教大
武庫川女大	27－1	滋賀大
天理大	16－7	大阪成蹊女
		短大
天理大	13－9	京教大
天理大	18－6	滋賀大
大阪成蹊女	11－8	京教大
短大		
大阪成蹊女	12－8	滋賀大
短大		
京教大	20－10	滋賀大

〔順位〕

①大阪体育大 ②大阪教育大 ③武庫川大学 ④天理大 ⑤大阪成蹊女短大 ⑥京都教育大 ⑨滋賀大

▽女子2部

〔順位〕

①和歌山大 ②関学大 ③仏教大 ④京都女大 ⑤京都府大 ⑥大阪薬大 ⑦神戸大

▽女子3部

〔順位〕

①奈良教大 ②奈良女大 ③関大 ④大阪外大 ⑤大谷女大 ⑥関西外大 ⑦園田女大

中四国学生春季リーグ戦

▽男子1部

愛媛大	36－7	修道大
愛媛大	29－19	鳥取大
愛媛大	35－23	山口大
愛媛大	22－17	広島大
山口大	38－14	修道大
山口大	40－20	鳥取大
山口大	25－25	広島大
広島大	39－12	修道大
広島大	28－21	鳥取大
鳥取大	26－22	修道大

〔順位〕

①愛媛大②山口大③広島大④鳥取大⑤修道大

〔優秀選手〕

武智誠治（愛媛大）
川田哲也（愛媛大）
神原宏和（愛媛大）
川島克哉（山口大）
河村康男（山口大）
坪井伸治（鳥取大）

▽男子2部

〔順位〕

①松山商大 ②岡山大 ③島根大 ④高知大 ⑤広島工大

▽男子3部

〔順位〕

①徳島大 ②香川大 ③徳山大 ④近大呉工 ⑤四国学院

▽女子一次リーグ戦

○A組

山口大	37－11	広島大
山口大	26－12	香川大
広島大	30－20	香川大

○B組

岡山大	18－18	高知大
岡山大	15－13	岡山県短
岡山県短	21－13	高知大

▽5位決定戦

香川大	34－15	高知大

▽3位決定戦

岡山県短	24－19	広島大

▽決勝

山口大	30－9	岡山大

〔優秀選手〕

肥田典子（山口大）
戸田真智子（山口大）
藤木知子（山口大）
岡崎史枝（山口大）
矢内裕子（岡山大）
奥原里美（岡山県短）
石田端穂（広島大）

molten®





瞬間、信頼の手がかり!

独自の32面体
ノンスリップ構造で
ダイナミックプレーを演出する

モルテンハンドボール

独特のリブ形状とパネル間段差の"32面体ノンスリップ構造"で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟(I.H.F.)公認を獲得。ハンドボーラーの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール協会検定球(J.H.A.)　●国際ハンドボール連盟公認球(I.H.F.)

モルテン ハンドボール

株式会社モルテン

'84ロス五輪のオフィシャルサプライヤーに!

モルテンは'84ロサンゼルスオリンピック大会のオフィシャルサプライヤーとして、ロサンゼルスオリンピック組織委員会の公認を受け、バスケットボールとタンゴサッカーボールを公式試合球として提供することが決まっています。

---

brother

日本人タイプライター。



ワープロの頭脳と、タイプライターの使いやすさがひとつになりました。

タイプライターのブラザーが、日本語をぐーんと面白くしてしまいました。1400万台の生産実績をほこるブラザーがそのタイプ技術・エレクトロニクス技術を総結集して生んだ日本人のためのタイプライター。手にしたその日から、誰でもビックリするほど簡単に美しい日本語が打てます。指一本で自由自在、使い方も無限。しかも、使い場所を選ばない超軽量タイプです。「書く」から「打つ」へ——日本語の新しい時代が、いま、ピコワードからはじまります。



ブラザー日本語パーソナルライター

ピコワード

ブラザー工業株式会社
名古屋市瑞穂区堀田通9-35 〒467
TEL:(052)824-2511(代表)

各地の記録から

第29回中国一般選手権

（5月19、20日）

〈男子〉

▽1回戦

日新製鋼呉（広島）50－7 川崎製鉄水島（岡山）

岩国ク（山口）22－14 朝酌ク（島根）

白桃ク（岡山）27－22 中部ク（鳥取）

下関ク（山口）40－18 島根大（島根）

アシックスク（鳥取）25－18 海上自衛隊呉（広島）

江津ク（島根）30－15 天城ク（岡山）

水島工高ＯＢ（岡山）29－27 鳥取大（鳥取）

湧永製薬（広島）23－17 山口県教育団（山口）

▽2回戦

日新製鋼呉 26－14 岩国ク

下関ク 40－22 白桃ク

アシックスク 30－21 江津ク

湧永製薬 54－8 水島工高ＯＢ

▽準決勝

日新製鋼呉 32－24 下関ク

湧永製薬 31－12 アシックスク

▽決勝

日新製鋼呉 27（13－15、14－11）26 湧永製薬

〈女子〉

▽1回戦

松江ク（島根）20－15 米子ク（鳥取）

天城高ＯＧ（岡山）18－12 アシックス（鳥取）

▽準決勝

広島ク（広島）19－15 松江ク

天城高ＯＧ 15－10 徳山ク（山口）

▽決勝

天城高ＯＧ 16（10－6、6－7）13 広島ク

昭和58年度和歌山県室内総合選手権

（3月18、20日）

〈男子〉

▽1回戦

箕島高 14－12 市和商高

市和商ク 20－18 御坊商工

笠田ク 27－25 桐陰高

御坊ク 20－18 那賀高

県和商高 17－16 丸善石油

▽2回戦

住友金属 23－18 箕島高

市和商ク 29－22 笠田ク

御坊ク 27－23 県和商ク

那賀ク 16－15 県和商高

▽準決勝

住友金属 25－15 市和商ク

御坊ク 28－13 那賀ク

▽決勝

御坊ク 17（9－8、8－8）16 住友金属

〈女子〉

▽準決勝

和歌山大 13－8 県和商ク

▽準決勝リーグ

県和商高 14－12 笠田高

笠田高 15－6 御坊商工

県和商高 16－3 御坊商工

▽決勝

和歌山大 14（10－5、4－3）8 県和商高

第14回鳥取県室内総合選手権

（3月18、20日）

〈男子〉

▽1回戦

中部ク 27－15 米子北高ＯＢ

境選抜 22－21 倉吉工高

米子北高 23－8 境港二中

米子西高 29－9 境港一中

わかとり 35－11 米子東高

かしのはク 28－18 米子高専

▽2回戦

境港市ク 24－22 中部ク

境選抜 21－17 米子北高

わかとり 40－9 米子西高

かしのはク 不戦勝 倉吉ク

▽準決勝

境港市ク 33－15 境選抜

かしのはク 26－21 わかとり

▽決勝

境港市ク 30（16－9、14－4）13 かしのはク

第2回青森県社会人大会

（4月15日）

〈男子〉

▽1回戦

青森ク 30－27 野辺地ク

七戸ユニオン 40－25 弘前ク

▽決勝

七戸ユニオン 37（16－9、21－11）20 青森ク

第11回青森県社会人春季大会

（4月21、22日）

〈男子〉

▽1回戦

青商ク 39－25 八戸第二航空群

弘前ク 37－25 青森陸上自衛隊

▽2回戦

青商ク 28－18 七戸ユニオン

野辺地ク 35－18 尾上ク

教員ク 40－24 大湊海上自衛隊

青森ク 25－21 弘前ク

▽準決勝

野辺地ク 33－26 青商ク

教員ク 28－22 青森ク

▽決勝

野辺地ク 32（14－13、18－17）30 教員ク

昭和59年度神奈川県春季選手権

（4月15、22日、5月5日）

〈男子〉

▽1回戦

三春台ク 28－26 県教員

百合丘ク 28－21 茅ヶ崎北陵ク

東ク 28－16 相友ク

大山ク 33－8 浅野送球会

旭ク 24－15 藤沢西ク

日本発条 30－21 柿生ク

相模スカイラーク 27－16 日立横浜

向ク 23－22 金井ク

桐陰高専 26－14 横浜市消防局

セントラル自動車 40－7 蒔田ク

厚木航空隊 32－16 ＮＥＣ横浜

桐球会 25－20 厚木商ＯＢ

▽2回戦

三春台ク 23－13 日進商会

百合丘ク 27－23 東ク

大山ク 29－18 旭ク

日本発条 27－19 鉄ク

相模スカイラーク 22－12 向ク

法政二ク 27－19 桐陰高専

セントラル自動車 32－11 厚木航空隊

桐球会 26－13 ＮＥＣポンコツ

▽準々決勝

三春台ク 24－23 百合丘ク

大山ク 25－14 日本発条

法政二ク 26－21 相模スカイラーク

セントラル自動車 37－7 桐球会

▽準決勝

大山ク 22－9 三春台ク

セントラル自動車 29－9 法政二ク

▽決勝

セントラル自動車 18（12－6、6－8）14 大山ク

〈女子〉

▽1回戦
相模セブンスターズ 15－8 東ク
県教員 23－6 旭ク
▽決勝
県教員 22（12－7、10－8）15 相模セブンスターズ

関東高校神奈川県予選

（4月15、22、29、30日5月3、5日）

〈男子〉

▼予選トーナメント

○Aブロック
▽1回戦
逗子 21－7 鶴嶺
横須賀学園 16－3 相武台
金井 19－17 岡津
浅野 17－15 北陵
▽2回戦
多摩 18－9 逗子
日野 29－8 横須賀学園
金井 20－8 桐光
城山 32－16 浅野
▽準決勝
多摩 23－17 日野
城山 25－14 金井
▽決勝
多摩 22－13 城山

○Bブロック
▽1回戦
桜丘 28－5 松田
上溝南 23－10 向上
富岡 24－13 七里ヶ浜
鎌倉学園 23－12 商大
大和南 35－8 磯子工
▽2回戦
法政二 35－6 桜丘
上溝南 26－20 富岡
川和 33－16 鎌倉学園
大和南 不明 神田
▽準決勝
法政二 36－13 上溝南
大和南 14－9 川和
▽決勝
法政二 26－12 大和南

○Cブロック
▽1回戦
霧ヶ丘 13－12 大清水
桐蔭 28－12 県商工
科技 21－17 三浦
江南 21－14 県相
大和 23－18 関東
▽2回戦
生田 25－14 霧ヶ丘
桐蔭 26－12 科技
江南 20－13 光陵
松陽 21－16 大和
▽準決勝
桐蔭 14－13 生田
江南 20－18 松陽
▽決勝
桐蔭 17－15 江南

○Dブロック
▽1回戦
鎌倉 27－20 五領ヶ台
市東 25－8 弥栄西
湘南 34－13 湘南通
麻溝台 23－20 市南
相工大 14－10 磯子
▽2回戦
慶応 25－19 鎌倉
市東 21－17 湘南
麻溝台 17－10 新城
県川崎 27－9 相工大
▽準決勝
慶応 26－10 市東
麻溝台 23－16 県川崎
▽決勝
慶応 33－9 麻溝台

○Eブロック
▽1回戦
生田東 17－17 平沼
秦野 21－11 厚木商
柏陽 22－18 西湘
藤沢北 25－11 上鶴田
翠嵐 31－8 綾瀬
▽2回戦
市川工 36－16 生田東
柏陽 27－18 秦野
藤沢北 34－6 港北
柿生 17－12 翠嵐
▽準決勝
市川工 22－12 柏陽
柿生 24－14 藤沢北
▽決勝
市川工 18－14 柿生

○Fブロック
▽1回戦
百合丘 31－19 大岡
神奈川工 22－13 橋本
和泉 31－13 清水ヶ丘
希望ヶ丘 22－12 藤沢西
座間 27－9 菅
▽2回戦
横浜商工 43－6 百合丘
和泉 38－6 神奈川工
希望ヶ丘 34－17 伊志田
川崎北 24－13 座間
▽準決勝
横浜商工 33－17 和泉
川崎北 22－14 希望ヶ丘
▽決勝
横浜商工 28－12 川崎北

▼決勝リーグ
法政二 20－15 市川工
多摩 17－15 横浜商工
慶応 19－18 桐蔭
多摩 22－15 市川工
法政二 26－10 桐蔭
横浜商工 33－13 慶応
横浜商工 19－19 法政二
桐蔭 19－17 市川工
多摩 23－20 慶応
法政二 25－14 慶応
多摩 26－17 桐蔭
横浜商工 26－14 市川工
横浜商工 33－17 桐蔭
慶応 21－13 市川工
法政二 17－12 多摩

（順位）①法政二②多摩③横浜商工④慶応⑤桐蔭⑥市川工

〈女子〉

▼予選トーナメント

○Aブロック
▽1回戦
松陽 19－7 県川崎
▽2回戦
明倫 26－5 松陽
高浜 13－9 七里ヶ浜
瀬谷 14－9 厚木東
有馬 7－7 相武台
▽準決勝
明倫 32－3 高浜
瀬谷 12－4 有馬
▽決勝
明倫 22－8 瀬谷

○Bブロック
▽1回戦
桜丘 5－2 上溝
▽2回戦
川崎北 16－4 桜丘
多摩 14－10 五領ヶ台
県商工 16－7 市東
厚木商 21－5 鶴嶺
▽準決勝
川崎北 13－8 多摩
県商工 12－7 厚木商
▽決勝
厚木商 11－10 川崎北

○Cブロック
▽1回戦
翠嵐 10－6 日野
藤沢西 18－6 秦野
▽2回戦
金井 18－5 翠嵐
北陵 17－7 菅
岡津 17－10 霧ヶ丘
大津 15－1 藤沢西
▽準決勝
金井 11－9 北陵
霧ヶ丘 12－12 大津
▽決勝
金井 17－9 霧ヶ丘

○Dブロック
▽1回戦
上溝南 15－6 上鶴間
江南 13－5 麻溝台
▽2回戦
成美 14－9 上溝南
弥栄東 12－0 神田
川和 18－7 平沼
江南 22－10 北鎌倉
▽準決勝
成美 17－4 弥栄東
川和 15－8 江南
▽決勝
成美 11－9 川和

○Eブロック
▽1回戦
生田 22－3 大和
生田東 18－6 相模原
▽2回戦
生田 15－14 富岡
座間 13－8 関東学院
弥栄西 8－7 市南
生田東 11－9 和泉
▽準決勝
生田 23－7 座間
生田東 18－12 弥栄西

▽決勝
生田 13－11 生田東

○Fブロック
▽1回戦
橋本 11－6 希望ヶ丘
大和南 9－6 清水ヶ丘
▽2回戦
高津 21－3 橋本
大沢 8－5 逗子
城山 8－4 立野
大和南 10－8 百合ヶ丘
▽準決勝
高津 35－1 大沢
大和南 12－6 城山
▽決勝
高津 9－7 大和南

▼決勝リーグ
明倫 14－13 高津
金井 13－10 成美
生田 17－14 県商工
高津 18－10 成美
県商工 12－11 金井
明倫 22－8 生田
県商工 17－15 高津
明倫 17－7 成美
生田 19－10 金井
高津 18－17 生田
県商工 13－8 成美
明倫 20－12 金井
生田 14－5 成美
高津 18－10 金井
明倫 24－17 県商工

（順位）①明倫②高津③生田④県商工⑤金井⑥成美

第4回京都府高校選手権

（4月22日～5月3日）

〈男子〉
▽1回戦
大谷 39－6 洛東
嵯峨野 38－5 桂
桃山 16－7 鴨沂
北嵯峨 19－10 洛陽工
京都西 33－12 塔南
田辺 12－10 城南
西宇治 14－6 堀川
洛西 20－10 伏見工
洛北 10－9 城陽
平安 12－0 同志社
京都南 23－10 日吉丘
洛星 14－12 宇治
▽2回戦
東宇治 19－18 大谷
嵯峨野 21－6 桃山
京都西 24－19 北嵯峨
向陽 25－5 田辺
西宇治 12－8 乙訓
洛北 15－12 洛西
京都商 27－5 平安
東山 37－8 洛星
▽準々決勝
東宇治 18－15 嵯峨野
向陽 21－12 京都西
西宇治 19－13 洛北
東山 26－10 京都商
▽準決勝
東宇治 22－12 向陽
東山 28－6 西宇治
▽決勝
東山 22（11－10，11－7）17 東宇治

〈女子〉
▽1回戦
西京商 14－11 桃山
久御山 13－2 鴨沂
乙訓 17－4 西宇治
塔南 16－1 日吉丘
光華 15－9 洛水
城南 15－0 精華
北嵯峨 11－7 田辺
▽2回戦
東宇治 21－4 西京商
東稜 18－3 久御山
乙訓 18－2 桂
明徳商 14－6 塔南
京都女子 25－9 光華
西山 11－9 城南
洛西 13－6 洛東
向陽 18－2 北嵯峨
▽準々決勝
東宇治 18－7 東稜
明徳商 13－2 乙訓
京都女子 25－4 西山
向陽 20－8 洛西
▽準決勝
東宇治 19－2 明徳商
向陽 9－8 京都女子
▽決勝
東宇治 17（9－5，8－5）10 向陽

富山県高校春季選手権

（4月29、30日、5月3日）

〈男子〉
▽1回戦
高岡商 19－7 伏木
高岡 15－12 新湊
富山東 9－8 富山工
▽2回戦
氷見 28－9 高岡商
高岡南 17－10 富山中部
富山商 22－17 二上工
高岡 24－13 雄山
富山工専 28－19 富山
小杉 17－16 八尾
富山南 19－13 大沢野工
高岡向陵 38－3 富山東
▽準々決勝
氷見 41－9 高岡南
高岡 26－16 富山商
富山工専 27－27 小杉（PTC 4－3）
高岡向陵 31－8 富山南
▽準決勝
氷見 37－19 高岡
高岡向陵 35－12 富山工専
▽決勝
氷見 25（13－10，12－11）21 高岡向陵

〈女子〉
▽1回戦
富山女短付 14－5 富山女子
高岡女子 12－12 高岡第一（PTC 2－0）
富山北部 11－5 高岡
高岡商 15－8 富山女短付
高岡女子 10－2 新湊
小杉 棄権 高岡向陵
有磯 16－10 富山北部
▽準決勝
高岡商 18－3 高岡女子
有磯 17－4 小杉
▽決勝
高岡商 17（8－5，9－9）14 有磯

昭和59年度富山県春季選手権

（5月6、13日）

〈男子〉
▽1回戦
氷見ク 29－21 向陵ク
富山大 26－12 八尾ク
杉原ク 19－18 北嶺会
▽2回戦
富山教員 20－15 氷見ク
富山大 25－16 高商ク
想球会 24－11 二上ク
氷見クシニヤ 30－17 杉原ク
▽準決勝
富山教員 28－16 富山大
想球会 26－19 氷見クシニヤ
▽決勝
富山教員 25（12－9，13－6）15 想球会

〈女子〉
▽1回戦
有磯ク 25－5 向陵OG
▽準決勝
桜球会 19－15 有磯ク
想球会 20－17 高女OG
▽決勝
桜球会 25（12－7，13－3）10 想球会

関東高校茨城県予選

（5月9日～11日）

〈男子〉
▽1回戦
岩井 29－18 笠間
水海道一 39－20 鹿島灘
太田一 16－14 緑岡
八郷 26－15 日立一
上浦一 20－10 古河三
竜ヶ崎一 16－14 竹園
藤代 19－15 下館一
土浦工 37－18 鉾田一
▽敗者復活戦
笠間 20－11 古河三
竹園 32－16 鹿島灘
緑岡 20－15 下館一
鉾田一 24－10 日立一
▽2回戦
岩井 27－16 土浦一
太田一 20－10 藤代
水海道一 29－11 竜ヶ崎一
八郷 27－24 土浦工
▽敗者復活戦

鉾田一 21－20 竜ヶ崎一
竹園 21－20 土浦工
土浦一 17－14 緑岡
笠間 17－11 藤代
▽代表決定戦
岩井 36－11 鉾田一
竹園 21－16 太田一
水海道一 24－16 土浦一
八郷 23－16 笠間
▽準決勝
岩井 27－17 竹園
水海道一 28－19 八郷
▽3位決定戦
竹園 20－15 八郷
▽決勝
水海道一 27（16－5、11－5）10 岩井

〈女子〉
▽1回戦
水海道二 25－2 下館二
結城二 24－6 水戸二
竜ヶ崎一 15－9 石岡二
日立二 13－3 岩井
八郷 13－10 太田二
麻生 23－2 土浦二
潮来 14－9 那珂湊二
鉾田二 20－3 下妻二
▽敗者復活戦
太田二 24－4 下館二
土浦二 12－6 水戸二
石岡二 26－5 那珂湊二
岩井 10－7 下妻二
▽2回戦
水海道二 17－4 八郷
竜ヶ崎一 16－13 潮来
麻生 12－5 結城二
鉾田二 14－9 日立二
▽敗者復活戦
結城二 15－8 岩井
日立二 14－2 土浦二
八郷 16－9 石岡二
太田二 11－9 潮来
▽代表決定戦
水海道二 17－5 結城二
竜ヶ崎一 7－6 日立二
麻生 16－11 八郷
鉾田二 9－6 太田二
▽準決勝
水海道二 16－4 竜ヶ崎一
鉾田二 8－7 麻生
3位決定戦
麻生 14－12 竜ヶ崎一
▽決勝
水海道 19（6－2、13－1）3 鉾田二

第20回九州選手権

（5月12、13日）

〈男子〉
▽1回戦
口加ク（長崎）32－27 福岡教育大（福岡）
大電会（大分）26－25 佐賀教員（佐賀）
本田技研熊本（熊本）41－16 鹿屋自衛隊（鹿児島）
新日鉄大分（大分）30－27 佐世保ク（長崎）
赤間ク（福岡）33－20 鹿児島ク（鹿児島）
熊本教員（熊本）28－27 龍登園ク（佐賀）
▽2回戦
全宮崎（宮崎）36－29 口加ク
本田技研熊本 39－28 大電会
赤間ク 35－18 新日鉄大分
浦添ク（沖縄）35－21 熊本教員
▽準決勝
本田技研熊本 29－18 全宮崎
浦添ク 23－21 赤間ク
▽決勝
本田技研熊本 40（25－13、15－19）32 浦添ク

〈女子〉
▽1回戦
じょうもんク（福岡）22－18 熊本女商OG（熊本）
長崎ク（長崎）11－5 ソニー国分（鹿児島）
大分東シ（大分）17－11 宮崎ク（宮崎）
▽準決勝
神埼ク（佐賀）26－19 じょうもんク
大分東シ 20－9 長崎ク
▽決勝
神埼ク 26（10－14、16－9）23 大分東シ

第34回青森県高校春季選手権

（5月12、13日）

〈男子〉
▽1回戦
三本木 27－15 五所川原
鰺ヶ沢 18－17 青森
青森東 55－5 弘前南
柏木農 27－20 横浜野辺地
青森南 19－10 野辺地工
▽2回戦
野辺地 33－20 三本木
青森東 45－11 鰺ヶ沢
七戸 33－21 柏木農
青森商 31－5 青森南
▽準決勝
野辺地 24－16 青森東
青森商 25－17 七戸
▽決勝
野辺地 25（11－9、14－8）17 青森商

〈女子〉
▽1回戦
青森商 22－21 七戸
青森中央 18－13 三本木
野辺地 30－7 青森東
▽準決勝
青森西 25－10 青森商
野辺地 23－13 青森中央
▽決勝
野辺地 16（8－4、8－11）15 青森西

第2回千葉中学春季大会

〈男子〉
▽1回戦
逆井 17－9 河原塚
花園 15－9 葛飾
福栄 23－2 柏三
▽準決勝
東邦 20－9 逆井
福栄 19－7 花園
▽決勝
福栄 14（9－5、5－5）19 東邦

〈女子〉
▽1回戦
花園 21－2 柏三
市川二 17－9 白井
福栄 不戦勝 東国分
昭和学院 15－8 大栄
▽準決勝
花園 16－12 市川二
昭和学院 15－8 福栄
▽決勝
昭和学院 11（8－4、3－6）10 花園

埼玉県高校関東第二次予選（5月5、6、12、13日）

〈男子〉

▽1回戦
浦和実 51−11 朝霞
羽生一 12−0 富士見
桶川 27−16 共栄
浦和市立 24−22 春日部工
浦和西 38−14 西武台
春日部 25−18 朝霞西
埼玉栄 41−13 城北埼玉
浦和学院 31−15 庄和
川口工 38−10 和光
川越工 19−17 筑波坂戸
戸田 19−19 大宮北（3 PTC 2）
和南 44−15 大宮
川口東 20−16 小松原
草加 29−16 草加東
城西川越 33−13 狭山
川口北 53−6 所沢北

▽2回戦
浦和実 32−5 羽生一
桶川 24−17 浦和市立
浦和西 29−12 春日部
浦和学院 21−20 埼玉栄
川口工 43−15 川越工
浦和南 27−20 戸田
川口北 34−12 城西川越
川口東 22−17 草加

▽準々決勝
浦和実 43−7 桶川
浦和学院 27−20 浦和西
川口工 27−23 浦和南
川口北 32−16 川口東

▽準決勝
浦和実 29−7 浦和学院
川口北 21−17 川口工

▽3位決定戦
川口工 30−26 浦和学院

▽決勝
浦和実 26（13−6、12−12）18 川口北

〈女子〉

▽1回戦
川口北 36−12 浦和西
草加東 28−9 熊谷女
川口東 16−4 朝霞
庄和 18−3 大宮開成
行田女 44−3 大井
埼玉一 24−8 深谷一
春日部東 19−11 熊谷商
和光 19−4 秩父
川口女 30−1 狭山
羽生一 13−6 越谷南
浦和商 24−12 大宮北
浦和南 12−10 浦和市立
八潮 24−5 筑波坂戸
志木 12−10 秋草
草加南 10−6 上尾南
浦和実 23−4 三郷北

▽2回戦
川口北 23−10 草加東
川口東 9−8 庄和
行田女 25−3 埼玉一
和光 35−8 春日部東
川口女 23−5 羽生一
浦和南 24−7 浦和商
八潮 26−6 志木
浦和実 24−9 草加南

▽準々決勝
川口北 27−8 川口東
行田女 24−13 和光
川口女 15−5 浦和南
浦和実 19−11 八潮

▽準決勝
行田女 17−14 川口北
浦和実 16−12 川口女

▽3位決定戦
川口北 26−15 川口女

▽決勝
浦和実 10（3−6、7−3）9 行田女

第7回東北クラブ選手権（5月26、27日）

〈男子〉

▽1回戦
青森ク（青森）26−25 白堊ク（岩手）
七戸ユニオン（青森）44−25 真室川OB（山形）
花巻ク（岩手）34−22 野辺地ク（青森）

▽準決勝
湯沢ク（秋田）31−27 青森ク
花巻ク 30−18 七戸ユニオン

▽決勝
花巻ク 24（10−10、14−13）23 湯沢ク

〈女子〉

▽決勝
大曲スポーツク（秋田）28（12−9、16−12）21 白梅三英芸（岩手）

和歌山県高校総体（6月1、2、3日）

〈男子〉

▽1回戦
市和歌山商 23−10 海南
耐久 32−17 新宮
県和歌山商 28−5 和歌山東
桐蔭 13−8 粉河
箕島 38−3 紀北工

▽2回戦
那賀 17−12 市和歌山商
耐久 20−19 県和歌山商
笠田 16−13 桐蔭

▽敗者1回戦
箕島 22−21 御坊商工

▽敗者2回戦
新宮 29−12 和歌山東
県和歌山商 18−9 海南
市和歌山商 22−11 新宮
御坊商工 20−15 粉河
桐蔭 21−8 紀北工

▽敗者3回戦
市和歌山商 13−12 県和歌山商
桐蔭 22−11 御坊商工

▽準決勝
那賀 21−13 耐久
笠田 20−15 箕島

▽敗者最終戦
箕島 15−9 市和歌山商
桐蔭 14−10 耐久

▽決勝
那賀 23（12−6、11−7）13 笠田

〈女子〉

▽1回戦
粉河 37−2 海南
県和歌山商 16−11 新宮
御坊商工 14−12 那賀
笠田 28−8 貴志川

▽敗者1回戦
新宮 20−7 海南
貴志川 10−9 那賀

▽敗者2回戦
新宮 14−13 御坊商工
県和歌山商 18−7 貴志川

▽準決勝
粉河 10−5 県和歌山商
笠田 17−15 御坊商工

▽敗者3回戦
県和歌山商 22−10 新宮

▽決勝
粉河 24（12−1、12−2）3 笠田

▽敗者最終戦
笠田 14−13 県和歌山商

愛知県高校総体（5月27、6月3日）

〈男子〉

▽1回戦
中京 17−14 旭丘
岡崎北 29−17 時習館
半田 21−20 松蔭
守山 19−16 蟹江
犬山南 23−12 半田東
岡崎 19−17 桜台
愛知 21−15 一宮
岡崎城西 45−14 国府

▽2回戦
中京 32−10 岡崎北
守山 21−16 半田
犬山南 27−18 岡崎
愛知 25−17 岡崎城西

▽準決勝
中京 16−14 守山
愛知 27−15 犬山南

▽決勝
中京 21（12−5、9−9）14 愛知

〈女子〉

▽1回戦
名短付 21−7 蟹江
安城学園 22−5 武豊
高蔵寺 14−10 三好
尾西 12−8 豊橋東
佐屋 14−13 若宮商
市邨学園 29−16 蒲郡東
西尾 14−9 半田商
緑丘商 21−4 桜台

▽2回戦
名短付 20−6 安城学園
高蔵寺 22−11 尾西
市邨学園 22−6 佐屋

緑丘商 17－9 西尾

▽準決勝

高蔵寺 13－11 名短付

市邨学園 16－14 緑丘商

▽決勝

市邨学園 23（8－3、15－3）6 高蔵寺

富山県高校総体

（6月2、3、4日）

〈男子〉

▽1回戦

八尾 23－15 大沢野工

富山商 17－13 雄山

富山南 38－10 水橋

富山工 18－12 高岡南

▽2回戦

氷見 33－8 八尾

富山 20－17 富山中部

伏木 11－9 呉羽

富山商 20－19 小杉

富山南 22－17 高岡

高岡商 28－8 富山東

新湊 18－18 二上工（PTC 2－1）

▽準々決勝

高岡向陵 34－7 富山工

氷見 34－12 富山

富山商 26－14 伏木

富山南 16－10 高岡商

高岡向陵 38－10 新湊

▽準決勝

氷見 34－12 富山商

高岡向陵 31－11 富山南

▽3位決定戦

富山南 17－14 富山商

▽決勝

氷見 21（11－6、10－7）13 高岡向陵

〈女子〉

▽1回戦

富山女短 13－11 高岡

新湊 20－2 雄山

高岡向陵 21－14 高岡一

富山北 7－5 富山女

▽2回戦

高岡商 24－3 富山女短

高岡女 26－5 新湊

高岡向陵 15－10 小杉

有磯 15－7 富山北

▽準決勝

高岡商 22－6 高岡女

有磯 24－10 高岡向陵

▽3位決定戦

高岡向陵 14－12 高岡女

▽決勝

高岡商 15（5－6、10－6）12 有磯

三重県高校総体

（6月2、3、4日）

〈男子〉

▽1回戦

尾鷲 24－22 海星

四日市南 19－6 朝明

四日市西 19－11 日生第二

桑名西 20－6 津東

亀山 20－14 津西

四日市中央工 14－11 津

高田 21－15 四日市四郷

▽2回戦

四日市工 24－11 尾鷲

桑名北 21－14 四日市南

桑名工 28－12 四日市西

桑名西 18－16 亀山

桑名 29－8 四日市中央工

四日市 15－12 高田

▽3回戦

四日市工 34－12 桑名北

桑名工 25－11 桑名西

桑名 14－8 四日市

▽8位決定戦

四日市南 16－15 尾鷲

四日市西 27－16 亀山

四日市中央工 20－17 高田

▽4～6位決定戦

桑名北 26－17 四日市

桑名西 21－20 桑名北

桑名西 14－10 四日市

▽1～3位決定戦

四日市工 14（12－8、2－3）11 桑名

桑名工 15（8－7、7－8）15 桑名

四日市工 29（15－7、14－7）14 桑名工

〈女子〉

▽1回戦

四日市西 16－5 四日市

津東 19－9 四日市四郷

▽2回戦

暁 22－4 桑名

尾鷲 30－2 松阪女子

上野 13－10 四日市西

亀山 21－2 桑名北

四日市南 13－9 津東

四日市商 46－0 津

▽3回戦

暁 19－10 尾鷲

上野 14－11 亀山

四日市南 12－9 四日市商

▽8位決定戦

桑名 22－3 松阪女子

四日市西 28－1 桑名北

津東 22－2 津

▽4～6位決定戦

尾鷲 10－10 四日市南

尾鷲 12－8 亀山

四日市南 24－11 亀山

▽1～3位決定戦

暁 22（9－6、13－3）9 四日市南

上野 12（7－7、5－1）8 四日市南

暁 19（9－4、10－3）7 上野

長野県高校総体

〈男子〉

▽1回戦

千曲 21－16 長野東

坂城 21－19 野沢北

小諸 22－14 美須々ヶ丘

野沢南 27－11 東海大第三

臼田 17－16 蟻ヶ崎

北佐久農 39－7 田川

▽2回戦

上田 41－2 千曲

小諸 24－14 坂城

野沢南 26－20 臼田

北佐久農 15－14 屋代

▽準決勝

上田 18－9 小諸

野沢南 16－13 北佐久農

▽3位決定戦

小諸 21－15 北佐久農

▽決勝

上田 18（9－6、9－3）9 野沢南

〈女子〉

▽1回戦

蟻ヶ崎 13－9 北佐久農

▽2回戦

佐久 35－9 蟻ヶ崎

屋代 25－9 美須々ヶ丘

小諸商 10－3 田川

塩尻 14－7 臼田

▽準決勝

屋代 14－11 佐久

塩尻 10－7 小諸商

▽3位決定戦
佐久 19－10 小諸商
▽決勝
屋代 17（8－5、9－3）8 塩尻

全国高校福岡県予選

（6月2、3日）

〈男子〉
▽1回戦
久工大附 20－10 福岡
春日 15－10 西陵
福岡工 14－9 宗像
若松 20－18 西南
香椎 19－8 小倉工
博多工 26－10 浮羽
小倉西 18－17 新宮
九州産 41－13 日新館
▽2回戦
久工大附 31－13 春日
福岡工 16－8 若松
香椎 33－29 博多工
九州産 24－14 小倉西
▽準決勝
久工大附 22－11 福岡工
九州産 28－18 香椎
▽決勝
久工大附 28（11－13、17－5）18 九州産

〈女子〉
▽1回戦
新宮 16－11 宗像
香椎 19－9 春日
▽2回戦
東海大五 16－5 新宮
九州女 17－4 浮羽
筑紫女 24－4 若松
福岡 17－11 香椎
▽準決勝
東海大五 16－9 九州女
筑紫女 21－8 福岡
▽決勝
東海大五 13（1－7、9－3、1－0、2－0）10 筑紫女

岡山県高校総体

（6月2、3日）

〈男子〉
▽決勝リーグ進出決定戦
総社 21－14 水島工
倉敷工 26－13 玉野
倉敷商 27－21 天城
古城池 23－11 児島
▽決勝リーグ
総社 28（13－6、15－6）12 古城池
倉敷商 22（12－11、10－10）21 倉敷工
総社 28（13－8、15－8）14 倉敷商
倉敷工 21（14－4、7－15）19 古城池
総社 25（12－5、13－4）9 倉敷工
倉敷商 29（20－10、9－10）20 古城池
〔順位〕①総社②倉敷商③倉敷工④古城池

〈女子〉
▽決勝リーグ進出決定戦
総社 17－3 一宮
西大寺 17－7 落合
天城 11－8 芳泉
真備 10－10 操山（PTC 3－1）
▽決勝リーグ
総社 24（12－3、12－8）11 真備
天城 7（3－3、4－3）6 西大寺
総社 8（3－1、5－6）7 天城
西大寺 12（5－3、7－5）8 真備
総社 7（3－4、4－3）7 西大寺
天城 16（9－8、7－8）16 真備
〔順位〕①総社②天城③西大寺④真備
※この大会は、男女とも春季大会の上位8チームが参加して開催されました。

福島県高校体育大会

（6月8～11日）

〈男子〉
▽1回戦
福島 23－11 長沼
福島北 20－12 南会津
▽2回戦
学法石川 28－22 福島
須賀川 37－7 岩瀬農
安積 33－22 好間
郡山 39－8 小野
郡山北工 25－24 福島東
安積商 29－17 川俣
本宮 24－21 内郷
福島北 28－17 聖光学院
▽準々決勝
学法石川 39－9 須賀川
安積 24－24 郡山（PTC 3－1）
郡山北工 23－22 安積商
福島北 22－16 本宮
▽準決勝
学法石川 35－15 安積
福島北 24－15 郡山北工
▽決勝
学法石川 19（12－3、7－7）10 福島北

〈女子〉
▽1回戦
郡山女 21－11 福島西女
小野 15－10 小高商
福島工 9－7 福島北
本宮 8－7 東白農商
安積女 21－7 川俣
日本女工 18－12 石川
緑が丘 22－11 須賀川
福島女 19－9 長沼
▽2回戦
郡山女 20－9 小野
福島工 15－11 本宮
日本女工 16－5 安積女
緑が丘 12－4 福島女
▽準決勝
郡山女 22－6 福島工
緑が丘 18－9 日本女工
▽決勝
郡山女 12（9－4、3－2）6 緑が丘

第37回群馬県高校選手権

（6月10、17日）

〈男子〉
▽1回戦
玉村 25－10 利根農
下仁田 19－16 桐生工
▽2回戦
前橋商 43－5 玉村
前橋 24－9 桐生
富岡 37－7 前橋育英
吉井 25－19 下仁田
▽準決勝
前橋商 27－17 前橋
富岡 28－9 吉井
▽決勝

富岡 26（13－8, 13－9）17 前橋商

〈女子〉

▽1回戦
- 佐藤学園 13－10 高崎女
- 高崎市女 18－4 桐生女

▽2回戦
- 郡女短大付 14－10 佐藤学園
- 下仁田 8－7 桐生西
- 前橋市女 14－7 前橋商
- 吉井 31－7 高崎市女

▽準決勝
- 郡女短大付 23－3 下仁田
- 吉井 21－6 前橋市女

▽決勝
- 吉井 16（9－6, 7－5）11 郡女短大付

第14回群馬県クラブ選手権

（6月17日）

▽1回戦
- 前橋クラブ 24－18 群大クラブ
- 藤岡クラブ 23－16 桐生クラブ

▽準決勝
- 井クラブ 30－22 前橋クラブ
- 富岡クラブ 25－23 藤岡クラブ

▽決勝
- 富岡クラブ 25（11－9, 14－15）24 吉井クラブ

全国高校総体埼玉県予選

（6月15、16、17、23、24日）

〈男子〉

▽1回戦
- 朝霞西 21－17 狭山
- 埼玉栄 30－15 戸田
- 大宮南 20－18 宮代
- 埼玉第一 20－17 上尾南
- 春日部工 30－16 志木
- 富士見 20－10 伊奈学園
- 浦和南 33－18 和光
- 岩槻 21－16 菖蒲
- 所沢北 21－19 秩父
- 秩父農工 20－12 浦和工
- 浦和市立 32－22 越谷南
- 筑波坂戸 27－20 草加東
- 草加 22－21 西武台
- 庄和 25－16 城北埼玉
- 朝霞 26－14 上尾東
- 春日部東 23－18 春日部
- 熊谷 26－15 北本
- 大宮 35－21 春日部共栄
- 大宮北 42－7 越谷西
- 小松原 16－16 上尾沼南（3PTC2）
- 科技川越 29－9 桶川西
- 城西川越 31－27 川口青陵
- 大井 18－12 県立坂戸
- 聖望 37－9 蓮田
- 羽生第一 34－11 三郷北

▽2回戦
- 浦和実 36－10 朝霞西
- 埼玉栄 35－7 大宮南
- 春日部工 23－11 埼玉第一
- 浦和南 35－17 富士見
- 川口北 48－9 岩槻
- 秩父農工 26－19 所沢北
- 浦和市立 27－20 筑波坂戸
- 草加 31－23 桶川
- 川口工 30－14 庄和
- 朝霞 27－16 春日部東
- 大宮 22－19 熊谷
- 川口東 28－21 大宮北
- 浦和学院 31－15 小松原
- 城西川越 27－19 科技川越
- 大井 28－11 聖望
- 浦和西 29－13 羽生第一

▽3回戦
- 浦和実 28－11 埼玉栄
- 浦和南 29－27 春日部工
- 川口北 43－8 秩父農工
- 草加 31－22 浦和市立
- 川口工 39－16 朝霞
- 川口東 24－15 大宮
- 浦和学院 33－17 城西川越
- 浦和西 50－17 大井

▽ブロック代表決定戦
- 浦和実 39－7 浦和南
- 川口北 42－17 草加
- 川口工 25－15 川口東
- 浦和学院 20－19 浦和西

▽決勝リーグ
- 浦和実 30－23 浦和学院
- 川口北 30－24 川口工
- 浦和実 22－22 川口工
- 川口北 26－17 浦和学院
- 川口工 29－23 浦和学院
- 浦和実 29－26 川口北

［順位］①浦和実②川口北③川口工④浦和学院

〈女子〉

▽1回戦
- 熊谷商 20－12 北本
- 埼玉第一 16－13 三郷北
- 草加南 10－9 大宮開成
- 大宮北 19－7 春日部共栄
- 深谷第一 14－13 筑波坂戸
- 浦和商 25－5 浦和学院
- 庄和 35－6 秩父
- 越谷南 23－2 小松原
- 朝霞 13－13 大井（2PTC0）

▽2回戦
- 浦和実 33－6 熊谷商
- 志木 17－6 秋草
- 川口青陵 21－8 狭山
- 埼玉第一 19－18 和光
- 行田女 33－9 草加南
- 羽生第一 16－3 大宮武蔵野
- 幸手商 22－17 春日部東
- 八潮 36－9 大宮北
- 川口北 36－6 浦和商
- 浦和西 20－8 上尾沼南
- 上尾南 18－11 庄和
- 川口女 33－8 越谷南
- 浦和市立 19－4 桶川西
- 草加東 29－11 深谷第一
- 川口東 21－10 朝霞

▽3回戦
- 浦和実 32－1 志木
- 川口青陵 22－13 埼玉第一
- 行田女 27－2 羽生第一
- 八潮 39－7 幸手商
- 川口北 26－8 浦和西
- 浦和南 16－11 上尾南
- 川口女 26－11 浦和市立
- 草加東 15－4 川口東

▽ブロック代表決定戦
- 浦和実 15－13 川口青陵
- 八潮 15－15 行田女（6PTC5）
- 川口北 23－10 浦和南
- 川口女 20－12 草加東

▽決勝リーグ
- 川口女 22－15 浦和実
- 川口北 23－17 八潮
- 浦和実 14－13 川口北
- 川口女 21－17 八潮
- 川口北 15－13 川口女
- 浦和実 14－13 八潮

［順位］①川口女②川口北③浦和実④八潮

新型 すばらしいハンドリング

ジュニア世界選手権(1981男子)★アジア大会(1982男子)公式試合球

東京・メキシコ・ミュンヘン・モスクワ・ロサンゼルスと5回オリンピックの公式試合球に世界でたゞひとつ選ばれた、ミカサの技術が、この新型にすみずみ迄生かされ、すばらしいハンドリングが約束されています。



日本ハンドボール協会
検定球



MGH3



HL400



国際ハンドボール連盟
公認球

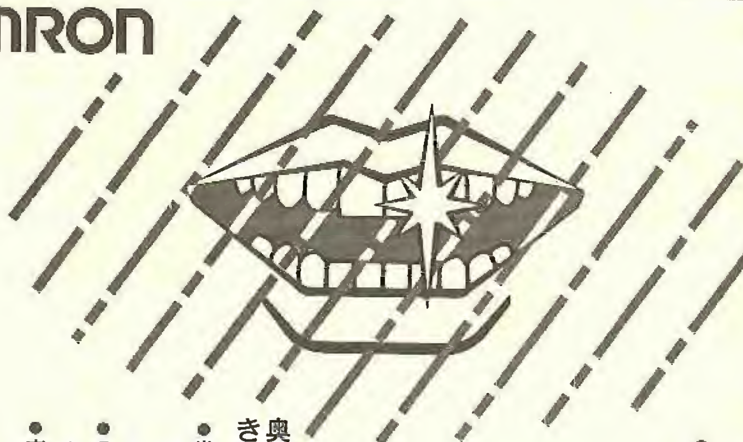
MIKASA®

明星ゴム工業株式会社
広島・東京・大阪・名古屋・福岡

OMRON

「歯」キラキラ

シャワーで一日の汗を流すように、
歯のよごれを落としてシェイプアップ!!



ジェット水流が歯と歯ぐきを守ります。

- ジェット水流が歯ぐきの健康によい適度な刺激を与えます。
- 食べカスを洗い流し、口臭を除きます。
- 水流はゆるくも、強くも調整できます。

奥歯も歯ウラもきれいにみがけます。

- 歯医者さんおすすめの、正しいみがき方ができます。
- 7倍の速さでみがけるローリング式です。
- 充電式だから、旅行にも便利です。
- 歯みがきの時間のわかる砂時計つきです。



オムロン 電動歯ブラシ
エレデント
HT-B10 ¥6,480

オムロン 口腔洗浄器
エレピック
HT-J11 ¥14,500

立石電機株式会社　〒616 京都市右京区花園土堂町10

賛助会はみんなの会だ

☆　何をするか？

オリンピックはどうなっているか？
今年はどんな外国チームが来る？
日本リーグで強いのはどこか？
大学では？　高校では？
ハンドボールのビデオが欲しい。
そう。学校卒業後ハードボールから遠ざかってしまったがハンドボール界の様子を知りたいという人、もっとハンドボールのテクニックを研究したいという人、……。みんながハンドボールをやったりして enjoy できればいいのです。

☆　会員になったら？

次のような特典があります。

①日本ハンドボール協会編月刊「ハンドボール」を毎月送ります。
②ハンドボールのイベントなどの情報をお届けします。
③日本ハンドボール協会主催の各種大会、日本リーグがただで見られます。
④ハンドボールビデオ、スコアブック、ルールブック、教程書等を特別価格でお届けします。

☆　会費は？

①個人会員　１口　５千円　１口以上
４口（２万円）以上納付された方を特別個人会員として機関誌に公示し、希望により口数に応じた特典を差し上げます。
③法人会員　１口５万円　１口以上
６口（30万円）以上納付された方を特別法人会員として機関誌に公表し、希望により口数に応じた特典を差し上げます。
年会費は、財団法人日本ハンドボール協会の賛助会特別会計で処理され、賛助会の経費に充てた余剰は、強化及び普及事業に充当されます。

☆　入会の手続きは？

特別の郵便振替用紙（兼申込書）を本紙に綴じ込んであります。

ＯＢ会、会社や地方協会など団体で個人会員をまとめて納付される場合は、手数料として会費の10％を控除していただいて結構です。

特別賛助会員御芳名

（受付順太字は前号以降。敬称略。受付順）

※特別法人会員　㈱デサント　アシックス㈱　新日本製鉄㈱　㈱三陽商会　中村荷役運輸㈱　㈱三景　ジャスコ㈱　大同特殊鋼㈱　プラザー工業㈱　日本ビクター㈱　大田印刷㈱　大崎電気工業㈱　日新製鋼㈱　㈱日立製作所栃木工場　立石電機㈱　**日鉄建材工業㈱**

※特別個人会員　滝沢　武（滝沢ハム・栃木市）　斎藤英四郎（日本協会・東京都）　荒川清美　武田喜三　大野金一(同)　竹内史衛（淡青社公認会計士事務所・東京都）　伊藤克己（群馬県）黒田富郎（日本協会・日野市）　平岡秀雄（日本協会・東京都）　岡村千春（所沢市）　渡辺慶寿（日本協会・宇都宮市）　阿部二郎（同・茨城県）　滝口三郎（同・東京都）　北川勇喜（同・横浜市）　大西武三（同・茨城県）　中沢重夫（同・東京都）　金原至（同・氷見市）　林達夫（同・名古屋市）　正畠明雄（広島市）　川上整司（日本協会・狭山市）　村田弘（同・堺市）　岡前義春（同・府中市）　富永弥（同・水戸市）　容藤純光（同・日野市）　山本佐知子（ノタリーノ・東京都）　嶋田新太郎（氷見市）　木下浩次（名古屋市）　田中滋章（日本協会・名古屋市）　小袋是郎（福岡市）　入江信太郎（日本協会・茨城県）　**桜井文治（日本協会・下松市）　山田計（日本協会・豊中市）　黒住宗晴（岡山）　福田誠（日本協会・東京都）　境井秀三（日本協会・樋川市）　高橋満年（愛媛）**

8～9月のハンドボール・イベント

7月31日～8月1日	第11回全国高等専門学校選手権大会	明石市中央体育館
8月1日～7日	第35回全日本高等学校選手権大会	秋田県立湯沢高校
8月8日～12日	第27回全日本教職員選手権大会(第4回国民体育大会ハンドボール競技リハーサル大会)	境港工業高校
8月17日～19日	第4回全国クラブ選手権大会	徳山市体育館
8月21日～24日	第13回全国中学校大会(昭和50年度全国中学校選抜競技大会)	明石市中央体育館

（財）日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』第二三一号
昭和五九年六月二十五日印刷
昭和五九年七月一日発行
昭和四十年六月［illegible］第三種郵便物認可
東京都渋［illegible］南一ー一ー一
電話 代表（4［illegible］）二三六一
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 大野金一
定価三百五拾円（年間購読料三千三百円）